

令和5(2023)年度 公民館事業報告書



那須塩原市公民館

心豊かに 学び続けることのできるまち 那須塩原
～自分らしくたくましく 未来を拓く人づくり～

Fun & Exciting Education in Nasushiobara



令和5(2023)年度公民館事業報告書 目次

那須塩原市公民館基本運営方針及び運営施策	1
黒磯公民館事業報告書	2
厚崎公民館事業報告書	9
稻村公民館事業報告書	16
とようら公民館事業報告書	22
鍋掛公民館事業報告書	27
東那須野公民館事業報告書	34
高林公民館事業報告書	44
西那須野公民館事業報告書	51
狩野公民館事業報告書	56
南公民館事業報告書	65
西公民館事業報告書	72
三島公民館事業報告書	79
大山公民館事業報告書	87
ハロープラザ事業報告書	92
塩原公民館事業報告書	98
令和5年度公民館及び関係施設利用状況一覧表	102

※ 掲載している事業は、各公民館の主催事業のほか、各公民館が事務局を担っている

那須塩原市公民館基本運営方針及び運営施策

目的

- この那須塩原市公民館基本運営方針及び運営施策は、生涯学習の拠点となる公民館が那須塩原市生涯学習推進プランで定めた目的や課題に対応し生涯学習社会の実現を目指した事業実施を図るために定めるものである。
- また、その期間は、那須塩原市生涯学習推進プランの期間に合わせ、令和5(2023)年度から令和9(2027)年度までの5年間とする。ただし、社会情勢の変化等により、必要に応じて適宜見直しを行うものとする。

基本運営方針

- 公民館は、「人も地域も学びでつなぎ 未来につなぐ 那須塩原」を基本理念とした生涯学習推進プランに基づき、生涯学習社会の充実に向けて地域の特性を生かした施策を展開する。
- 各公民館は、それぞれに運営方針、目標を掲げて具体的な事業計画を策定し、学びの機会の充実、学びを生かした地域づくり、学びを支える環境づくりに寄与する。

運営施策

- 1 **ライフステージに応じた多様な学習機会の提供**
(各年代のニーズに応じた講座の実施)
- 2 **人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供**
(健康づくりに関する講座の実施、地域の歴史・伝統芸能の継承支援)
- 3 **現代的課題に応じた学習機会の提供**
(情報化社会等、現代的課題に応じた各種講座の実施)
- 4 **地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進**
(地域学校協働本部事業、市民大学連携講座等の実施、育成会等地域団体の運営支援)
- 5 **家庭教育の充実**
(家庭教育支援事業の実施)
- 6 **学びの成果を生かす取組の推進**
(学びの発表の場の提供、地域で活躍する人材の育成)
- 7 **公民館の機能の充実と活用**
(シェアスペースの設置等による施設の有効活用、指定避難所機能の充実)
- 8 **公民館関連情報の提供及び相談体制の充実**
(ＩＣＴなど多様な媒体を活用した情報提供の充実)

令和5(2023)年度 黒磯公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	地球にやさしいキッズチングーデン教室 (市民)	班ごとに有機栽培による野菜作りを学び、学んだ知識を基に自主的な畠の管理を行った。また、有機栽培とSDGsとの関係について、座学による説明を行った。	4月～9月 (全10回)	15人 (127人)	有機栽培による野菜作りを通じて、受講者間の交流が図れた。また、SDGsの説明により、栽培だけでなく食べることの大切さを学び、SDGsを意識するきっかけ作りとなった。	市民大学連携講座
2	子ども探検隊 (黒磯小児童)	子どもたちの豊かな人間性や、互いに助け合う姿勢、地域愛を育むことを目的とし、体験・ものづくり・移動教室などを実施した。	6月～1月 (全7回)	28人 (170人)	様々な活動による直接体験や異学年交流を通して、豊かな情操や創造性を身に着け、相互扶助の精神を養うことができた。	
3	いきいきセミナー (地区内成人)	セミナーを通じ、様々な年代の方が学びと交流を深めることを目的とし、教養・芸術・ものづくり等を実施した。	6月～1月 (全6回)	(90人)	内容や開催日時を工夫したことで、今まで参加のなかった年代や性別の方の参加があり、利用者の幅が広がった。	
4	わかば学級 (65歳以上の地区内住民)	仲間づくり・生きがいづくり・健康長寿を目的とし、娯楽・教養・ものづくり・移動教室などの講座を実施した。	6月～1月 (全7回)	26人 (137人)	各種講座を通して、学びの実践や仲間づくり、健康づくりを促進することができた。	
5	夏休み子ども教室 (黒磯小児童)	夏休みの課題である「読書感想文」教室を実施。本の選び方から始まり、書き方を学び、参加した児童全員が読書感想文を完成させた。	7月25日 7月28日 8月2日	11人 (33人)	自分が興味を持った本を読み感じたことを表現することにより、読書の大切さ、楽しさに気付くきっかけとなった。	
6	冬休み子ども教室 (黒磯小児童)	冬休みの課題である「書初め」教室を実施。例年2日間で実施していたが、今年度は1日で実施した。	1月5日	3人	書初めの書き方を学ぶだけでなく、伝統行事に触れる機会となった。	

7	ものづくり講座 (市民)	公民館まつり内で、古布や不要になった服などでつくる裂き布を使ったブローチづくりを実施した。	11月19日	6人	誰でも参加しやすいよう、公民館まつり内で実施したことにより、未就学児や公民館へ初来訪の方などが楽しく体験することができた。	
8	ペアで仲良くクッキング (市民)	ペアに限らずどなたでも参加できるよう「いきいきクッキング教室」とし、ファンダン・ショコラづくりを行った。	1月28日	14人	高齢者から未就学児まで、様々な年代の参加があり、世代間交流を図ることができた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	いきいきハイキング (地区内住民)	春は深緑の駒止湿原の散策、秋は紅葉が始まった観音沼森林公園の散策及び塔のへつりの見学を行った。	6月23日 10月25日	13人 14人	春、秋ともに高低差が少ないコースであったため、歩きながらの会話も弾み、参加者間の交流にもつながった。	
2	百人一首かるた教室 (市民)	伝統文化の普及等を目的に、地元かるた会が講師となり、百人一首の教室を実施した。練習成果発表の場として、2月4日に開催された「関東北かるた大会」には、受講者から8名が参加した。	4月～3月 (全22回)	8人 (90人)	幅広い年代のかるた愛好者が参加し、伝統文化を学ぶだけでなく、世代間交流も図っていた。また、4年ぶりに開催された関東北かるた大会に参加したことが、さらなる学習意欲の向上にもつながった。	
3	第66回関東北かるた大会 (かるた愛好者)	関東及び東北のかるた会を対象とした小倉百人一首によるかるた大会。県内外から74人のかるた愛好者が参加し、A～Fクラスに分かれ対戦を行った。	2月4日	74人	4年ぶりの開催となったが、県内外から幅広い世代の参加があり、大会を通して世代間及び地域間の交流にもつながった。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	みんなにやさしいICT推進講座 (地区内住民)	初心者向けのスマートフォン教室を実施。インターネットの使い方、アプリの使い方を中心に、機種ごとに分かれ基本操作を学んだ。また、やさしいパソコン教室を実施。エクセルを利用した表作成を学んだ。	12月22日 3月22日	13人	機種(OS)ごとにマニュアルを分けるなど、具体的かつ丁寧な説明により、実生活に必要な知識の習得につながった。	

2	公民館だよりの発行 (地区内住民)	公民館が実施する事業の募集や実施した事業の報告を紙面による班回覧及びホームページにより地区内住民へ周知した。	月1回発行	-	事業の魅力を引き出すデザイン、全世代にも分かりやすい紙面づくりを心掛け、地区内住民へ情報発信することができた。また、講座の申込方法としてQRコードを活用しインターネットでの申込みを可能したことにより、幅広い世代の参加にもつながった。	
3	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK（見る・来る）（インターネット利用者）	エール那須塩原家学（うちがく）プロジェクトの一環として、公民館地域・事業等の紹介をインターネット（YouTube）で配信	通年	-	公民館まつりの様子を動画で配信し、多くの方に黒磯公民館の魅力を伝えることができた。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	お楽しみレクリエーション大会 (地区内住民)	レクリエーション競技を通して、地区内の住民の交流を図る。	中止	-	参加団体である自治会へのアンケート結果等を踏まえ中止となった。自治会の実状を把握できることにより、イベントのあり方、実施内容等の検討を行うことができた。	
2	ペットボトルロケット作り教室及び飛ばし大会（市内児童及びその保護者）	小学生と保護者を対象に、親子でのペットボトルロケットの作成及び飛ばし大会を開催した。	7月29日	児童10人 保護者10人	飛ばし大会は、30℃以上の高温での実施となつたため、熱中症対策を講じ、短時間で実施した。近年の高温状況を鑑み、実施時期等の見直しが必要と考えられる。	
3	感謝の集い (黒磯小)	交通指導員、図書ボランティア、スクールガードの方々に感謝の手紙や花束を渡し、感謝の気持ちを伝えた。 (地域学校協働本部事業)	11月20日 12月8日 (2回)	(248人)	全校児童が感謝の手紙を書く活動を通して、日頃支えてくれている地域の方々への感謝の気持ちを醸成することができた。	
4	校内教育講演会 (黒磯小)	保健委員会の事業として、講師を招聘し、今日的課題についての講話を聴くことで、情報を共有を行った。 (地域学校協働本部事業)	11月30日	36人	専門家の講話を聴くことで、情報を共有し、課題に対する理解を深めることができた。	

5	花いっぱい活動 (黒磯小・中)	黒磯小学校の児童、黒磯中学校、黒磯高校の生徒が連携し、一緒に花苗を植える活動を実施した。(地域学校協働本部事業)	黒小 5月23日、11月1日 黒中 5月23日	黒小100人 黒中150人	黒磯小・黒磯中・黒磯高校が一緒に花苗を植える活動を通して、地域の環境美化に貢献することができ、児童生徒間の交流にもつながった。また、地域の活性化に目を向ける契機となった。	
6	ボランティアで心を磨こう (黒磯中)	地域に出向き、地域のためにボランティア活動を行う。(地域学校協働本部事業)	4月～3月	(130人)	地域の美化や活性化につながる様々なボランティア活動を通じて、地域と繋かり、地域に貢献する姿勢を学んだ。	
7	一人一鉢菊づくり (黒磯中)	地域の方に講師をお願いし、2学年の全生徒が菊栽培を行った。(地域学校協働本部事業)	5月～11月	106人	菊栽培を通じて植物を育てる喜びや充実感を実感し、地域の方との交流を深めることができた。	
8	黒磯巻狩太鼓 (黒磯中)	地域の指導者による巻狩太鼓の指導を受け、発表を行った。(地域学校協働本部事業)	10月12日～10月28日	19人	巻狩太鼓指導者による専門的な指導や発表を通して、伝統文化継承の意識付けにつながった。	
9	まちづくり出前授業 (黒磯中)	キャリア教育「くろいそ人物名鑑」として地域の方々にインタビュー等を実施した。(地域学校協働本部事業)	10月19日 11月28日	2年生66人 1年生53人 地域住民 30人	地域の方々の話を聞くことにより、地域のつながりについての理解を深め、地域社会への参画意識の向上につながった。	
10	キャンドルナイト用キャンドル作り (黒磯中)	黒磯駅前活性化事業の一環として、毎年開催されるイベント「キャンドルナイト」に飾るキャンドル作りを行い、參加した。(地域学校協働本部事業)	6月17日 12月9日	20人 16人	地域の行事に積極的に参加し、沢山の方々と関わることで、地域への理解を深めるとともに、地域に貢献する姿勢や、郷土への愛着を深めることができた。	
11	和楽器の授業 (黒磯中)	地域の和楽器演奏家の専門的な指導を通して、伝統楽器への知識と伝統文化について学ぶ。(地域学校協働本部事業)	3月21日	53人	日本の伝統音楽や和楽器に対する関心が高まり、地域の魅力を再発見する機会となつた。	

12	黒磯中学校地域 学校協働本部会 議	地域学校協働本部事業に 関して、公民館が事務局と なり協働本部会議を開催し、情報交換会等を行い、	8月1日 2月27日	33人	各種事業の報告及び 情報交換を行い、学 校と地域の連携を深め ことができた。	
13	黒磯地区子供会 育成会連絡協議 会（地区内児童 親子）	事務局として、地区子ども 会育成会の活動支援を行った。	通年	—	育成会活動に必要な 各種手続きの窓口とし て、円滑な活動に寄与 した。	
14	黒磯地区婦人会 (地区内住民)	事務局として、各種資料の 作成補助や公民館まつり等 で展示するパネルの作成補 助を行った。	通年	—	年間を通して、いきふれ 花壇の手入れを実施 いただいており、公民館 のイメージアップにもつな がっている。	
15	自治公民館 (地区内住民)	自治公民館長との連絡調 整を行った。	通年	—	自治公民館長には運 営協力委員として公民 館まつりに協力いただい た。	
16	いきいきふれあいセ ンター利用団体	各種団体の活動について、 貸館や発表の場を提供する ことにより支援、協力を行つ た。	通年	—	オンライン予約システム の導入により利用団体 の利便性向上につな がった。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	PTA学年行事 (黒磯小)	家庭教育支援事業として、 学年単位で親子の交流活 動を実施した。（家庭教育 支援事業）	6月～11月	434人	学校PTA学年部会が 主体となり実施したこと により、親子の信頼関 係やPTA会員相互の 親睦を深めることができ た。	

2	親子奉仕作業 (黒磯中)	親子奉仕作業を通して、親子の絆を深めるとともに、感謝の気持ちを育てる。 (家庭教育支援事業)	5月14日 6月18日 8月20日	105人 121人 104人 (330人)	学校PTA学年部会と連携した活動を通して、学校への愛着や感謝の情を培い、親子の絆を深化することができた。	
3	ものづくり教室 (黒磯中)	制作活動を通して、PTAの親睦を図るとともに、ものづくりのよさを体験する。 (家庭教育支援事業)	12月19日	11人	保護者と教員が協力して制作に参加することで、和やかな雰囲気が醸成され、コミュニケーションの円滑化につながることができた。	
4	立志式記念行事 (黒磯中)	立志を記念する行事として2学年を対象に、「絵手紙教室」を実施。立志式にて親子の手紙のやりとりを行う。 (家庭教育支援事業)	2月16日	2年生70人 保護者70人	立志式での親子の手紙のやりとりに向け、愛情を再確認する機会となった。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第30回くろいそ公民館まつり	利用団体による作品展示・ステージ発表、模擬店、ものづくり講座を実施。1日目は作品展示のみとし、2日目は全ての内容を行う形で開催した。	11月18日 11月19日	18日200人 19日600人	まつりに向けた練習や当日の発表を通じて、利用団体の学習意欲の向上や会員相互の交流にもつながり、持続的な活動につながる有意義なイベントとなった。	
2	第66回関東北かるた大会	施策2-3再掲	2月4日			

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年	通年	破損箇所などを隨時修繕し、社会教育施設を維持管理している。	
2	スマート公民館に向けた取組	公民館の利便性向上に必要なシステム及び、地域住民の居場所づくりのために必要な設備の導入	通年	通年	全15公民館にオンライン予約システムの導入や稻村公民館、三島公民館にシェアスペースを設置し、利便性が向上した。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館だよりの発行				施策3-2再掲	
2	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK				施策3-3再掲	
3	黒磯地区子供会育成会連絡協議会活動支援				施策4-13再掲	
4	黒磯地区婦人会活動支援				施策4-14再掲	
5	自治公民館活動支援				施策4-15再掲	
6	いきいきふれあいセンター利用団体活動支援				施策4-16再掲	

令和5(2023)年度 厚崎公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	成人セミナー「アクト」 (地区内成人)	教養・芸術・ものづくり等、様々な分野のセミナーを実施。 ①SDGsってどんなもの？？ ②姿勢改善のための骨盤底筋トレーニングヨガ ③那須ザルツフェルドアンサンブルコンサート ④移動教室（茨城県大子町） ⑤チャンキーニットでつくる布ぞうり ⑥手前味噌をつくろう ※趣味の講座	6月～2月 (全6回)	①26人 ②15人 ③32人 ④23人 ⑤11人 ⑥15人 (152人)	土日に開催し、中年層の参加を期待したが、実際の参加者は、高齢者がほとんどだった。それぞれの講座で様々な体験を通じ教養を高めることができた。毎回楽しく有意義な研修だと好評で特にものづくりでは互いに教え合いながら楽しく活動することができた。	
2	高齢者学級「ときわ」 (地区内高齢者)	生きがいや仲間づくりのため、「教養講座」「健康講座」を行う。	7月～2月 (全7回)	56人 (209人)	教養や健康、消費生活や交通安全、ものづくりなど幅広く学びや体験ができた。	
3	子どもチャレンジクラブ (地区内小学1～2年生)	りすコース ヒップホップダンスの基礎を学ぶ。	6月～11月 (全10回)	24人 (200人)	ダンスによって、体を動かす楽しさを学ぶことができた。公民館まつりにおいて、大正堂みるひい	
4	子どもチャレンジクラブ (地区内小学3～6年生)	うさぎコース ヒップホップダンスの上級の振り付けを学ぶ。	6月～11月 (全10回)	23人 (178人)	ホールのステージで発表をすることができ、成功体験のプロセスを学ぶことができた。	
5	子どもチャレンジクラブ (地区内児童及び家族)	農園お野菜クラブ 農園において野菜の育て方や収穫の体験活動を行う。 ①サツマイモ苗植え ②ツル返し、夏野菜収穫 ③いも堀り	6月～10月 (全3回)	20人 (47人)	1回目は雨で畑に行くことができず、公民館で食育カルタや紙芝居を楽しんだ。親子で食育や野菜について楽しく学ぶことができた。	
6	夏休み子ども宿題サポート塾	夏休みの宿題である書道を指導する。	7月 1日間 (全4回)	児童41人 生徒7人	公民館利用団体が講師となって手厚い支援ができた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	スポーツ事業 (地区内住民)	スポーツを通して地域住民の体力づくりと交流を図るために、ディスコンとさいかつぼーる体験会を開催する。	6月25日 (1回)	80人	自治会からの代表者が、ディスコンとさいかつぼーるを体験した。体験者からは、ルールが簡単で、子どもからお年寄りまで、みんなで楽しめると好評であった。	
2	ソフトボール大会 (地区内住民)	スポーツを通じて若者から高齢者までが交流することで、次世代の地域活動の担い手とのつながりをつくため、ソフトボール大会を開催する。	9月24日 (1回)	84人	前年から1チーム減少し、5チームで対戦した。熱戦を繰り広げながら親睦を深めることができた。	
3	レザークラフト教室 (市民)	革製品作製を通して愛着を持つことでものを大切に使い続けようとする心情を育てる。レザーのオリジナルバッグを作製。	7月～8月 (4回)	10人 (40人)	参加者は初めてとは思えないほど、上手に個性的なバッグを作成していた。 参加者からは、また参加したいとの声があり、好評であった。	市民大学連携講座
4	映画鑑賞会 (地区内住民)	映画鑑賞会を通して、外出の機会を作り、交流の場とする。 ・ピーターパン（アニメ映画）	7月8日 (1回)	106人	大正堂みるひいホールで映画鑑賞会を開催し、その後厚崎公民館で交流会を実施した。育成会との共催により親子の参加が多く、地域住民の親睦と交流が図れた。	
5	趣味の講座 (地区内住民)	余暇を利用して新しいことに取り組み、仲間づくり生きがいづくりを支援する。 ・みそづくり	2月 (3回)	15人 (45人)	みそづくり初心者を対象としたが、定員に満たないため、経験者も参加していただいた。経験者は講師の助手的な役割を果たし、講座は順調にすすんだ。参加者からは、できあがりが楽しみと好評であった。	成人セミナー「アクト」の1つの講座として実施
6	健康ハイキング (地区内住民)	屋外での自然体験活動を推進し、心身の健康づくりを実践しながら、地域のつながりをつくる。 ・裏磐梯五色沼	6月17日 (1回)	19人	ビジターセンターでコースのレクチャーを受け、比較的平坦な五色沼コースを景色を堪能しながら歩くことができ、知識も深めることができた。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	スマホカメラ講座 (市民)	スマホカメラの特徴を知り、自分のスマホでのきれいな撮り方を学ぶ。	2月17日 (1回)	13人	スマホカメラのレンズの特徴や写真の構図などを学び、写真の腕前が簡単にランクアップする内容だった。参加者からは、わかりやすいと好評であった。	市民大学連携講座
2	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK（見る・来る） (インターネット利用者)	エール那須塩原家学（うちがく）プロジェクトの一環として、公民館地域・事業等の紹介をインターネット（YouTube）で配信	通年	—	公民館事業の周知など地域に向けた情報の発信ができた。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	地域学校協働本部会議 (地域学校協働本部委員・活動推進員)	地域協働本部会議 (地域学校協働本部事業)	6月、2月 (2回)	70人 (105人)	地域学校協働本部会議を実施。学校と地域の活動の情報共有が図れた。	
2	地域学校協働本部事業 あつさき地区ふれあい交流会 (地区住民、地区内地域活動団体、地区内学校教員)	あつさき地区ふれあい交流会 ・研修会とディスコン体験会を実施。 (地域学校協働本部事業)	10月4日 (1回)	216人	研修会では参加者全員で日光和楽踊りを踊り、地域づくりをテーマにグループ協議を実施した。厚崎中生徒会役員が会場準備、参加者受付・誘導、後片付けを、黒磯南高校生徒会役員がグループ協議の進行役、まとめの発表、今日の感想等を担い、生徒と地域の活動者が交流を図る良い機会となった。また、埼玉小、共英小の6年生がディスコン体験に参加し、児童と地域の活動者が交流を図る良い機会となった。	

3	埼玉小学校 地域学校協働本部事業 (児童・地域住民)	各種事業を通し、学校と地域との協働・交流を図るために、以下の事業を実施した。 ・稻作体験（田植え・稻刈り・お米の贈呈式） ・農園活動 ・掲示物・作品つくり ・おもちゃパーティ ・昔遊び (地域学校協働本部事業)	5月～2月 (5回)	800人	地元農家、農協、PTA、ボランティアの協力により、児童が活動をすることができ、学校と地域との協働・交流が図られた。	
4	共英小学校 地域学校協働本部事業 (児童・地域住民)	各種事業を通し、学校と地域との協働・交流を図るために、以下の事業を実施した。 ・花いっぱい運動 ・感謝の会をひらこう ・昔の遊びにチャレンジしよう ・まゆ玉つくり (地域学校協働本部事業)	6月～12月 (4回)	818人	PTA、ボランティアの協力により、児童が活動をすることができ、学校と地域との協働・交流が図られた。	
5	厚崎中学校 地域学校協働本部事業 (生徒・地域住民)	各種事業を通し、学校と地域との協働・交流を図るために、以下の事業を実施した。 ・厚崎中学校感謝の花プロジェクト (地域学校協働本部事業)	12月～1月 (2回)	156人	事業所の協力により、生徒が活動をすることができ、学校と地域との協働・交流が図られた。	
6	厚崎地区子供会育成会連絡協議会 (地区内児童と保護者)	・総会・役員会 ・映画会（ムーミン谷とインターワンダーランド）を主催 ・映画鑑賞会（ピーターパン）を厚崎公民館と共に	4月～3月 (4回)	132人	総会で、厚崎地区の育成会長が一堂に会し、情報交換を実施。LINEグループを作り、情報の共有が図れた。映画鑑賞会を厚崎公民館と共に開催した。映画会を主催し、地域住民・親子の親睦と交流をすることができた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	埼玉小PTA移動教室 (保護者・教員)	hikarinocafè蜂巣小珈琲店、資生堂工場を見学。 (家庭教育支援事業)	6月20日 (1回)	16人	障がい者雇用や福祉について理解を深めた。地域の魅力を知ることができた。	
2	埼玉小親子ものづくり教室 (児童・保護者)	苔玉、キャンドルづくり、クラフトテープで動物かご、ディンプルアートづくりを実施。 (家庭教育支援事業)	7月26日 (1回)	170人	どの講座も好評で親子で楽しくものづくりを体験できた。	
3	埼玉小PTA家庭教養支援事業新聞 (児童・保護者・教員)	【保護者発行】埼玉小学校PTA教養部役員（保護者）が「埼玉smile通信」を発行し、保護者に学びの機会や子育て情報の提供、悩みの共有をした。 (家庭教育支援事業)	12月 (1回)	440人	PTA教養部役員（保護者）が主体的に記事を作成し、悩みや子育ての情報を提供する新聞に発展できた。新聞づくりを公助から共助の形に発展させることができた。	
4	共英小PTA移動教室（保護者・教員）	PTA教養部と公民館が連携し、保護者と教員が学ぶ移動教室を企画する。（家庭教育支援事業）	—	—	参加者少数のため開催中止	
5	共英小親子ものづくり教室 (児童・保護者)	本立て、ディンプルアートづくり、消しゴムスタンプでエコバック、きらきらシードームづくりを実施。 (家庭教育支援事業)	7月22日 (1回)	69人	講座に参加人数のかたよりがあったが、どの講座も好評で親子で楽しくものづくりを体験できた。	
6	共英小PTA家庭教養支援事業新聞 (児童・保護者・教員)	【保護者発行】共英小学校PTA教養部役員（保護者）が「共英smile通信」を発行し、保護者に学びの機会や子育て情報の提供、悩みの共有をした。 (家庭教育支援事業)	12月 (1回)	270人	PTA教養部役員（保護者）が主体的に記事を作成し、悩みや子育ての情報を提供する新聞に発展できた。新聞づくりを公助から共助の形に発展させることができた。	
7	厚崎中PTA移動教室（保護者・教員）	野木煉瓦窯、Kewpie五霞工場を見学。 (家庭教育支援事業)	11月17日 (1回)	12人	歴史やマヨネーズの秘密について学び食育に関する見識を深めた。	

8	厚崎地区3校合 同子育て講演会 (地区内児童生 徒の保護者・教 員)	子育てに関する悩みや解決 策を共有し、子育て中の保 護者に気付きと活力を提供 するため、講演会を実施。 (家庭教育支援事業)	9月22日 (1回)	58人	「からだとこころを言葉で つなぐ、人と人が言葉 でつながる性教育」と題 し、講演会を開催し た。対面開催は久しぶり だったが、好評だった。 男性の参加者が3割 強あり、家庭での父親 と息子、同性で話すこ との大切さなど今後の 生活に發揮されこと が期待される。アンケー トでは9割以上が良好 と回答し、目からうろこ の性教育の話だったと 大変満足された様子 だった。	
---	--	--	---------------	-----	---	--

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	あつさき公民館ま つり (市民、利用団 体)	利用団体の作品展示、活 動発表。模擬店等での販 売。	11月25日 11月26日 (1回)	400人	4年ぶりの開催となり、 25日はサークルの作品 展示のみ、26日は公 民館で作品展示、模 擬店、体験コーナー、 一部ステージ発表と、 大正堂くろいそみるひい ホールでのステージ発 表を公民館のモニター で同時中継し2つの会 場での開催に一体感を 持たせ、来場者からの 声も好評で、準備から 片付けまで実行委員が 和気あいあいと笑顔で 活動し、地域住民の交 流や生涯学習の発展 に寄与できた。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施 (市民、利用団体)	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年	—	外灯改修工事、ボイラー機器修繕、照明器具修繕を実施した。利用者が、安全安心に利用できる環境を整えた。	
2	スマート公民館に向けた取組 (市民、利用団体)	公民館の利便性向上を図るため、オンライン予約システムを導入する。また、地域住民の居場所づくりを進める。	1月～	—	オンライン予約システムが導入され、利用者の利便性が図られた。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	あつさき公民館通信の発行	地区内住民に公民館事業や学校・地域の情報を提供するため、「あつさき公民館通信」を発行する。	通年 (9回)	—	公民館事業の周知など地域に向けた情報の発信ができた。	
2	厚崎公民館ホームページ	地区内住民に公民館事業や学校・地域の情報を提供する。	通年	—	公民館事業やコミュニティ情報の周知など地域に向けた情報の発信ができた。	
3	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK（見る・来る）（インターネット利用者）	エール那須塩原家学（うちがく）プロジェクトの一環として、公民館地域・事業等の紹介をインターネット（YouTube）で配信	通年	—	公民館事業の周知など地域に向けた情報の発信ができた。	施策3-2再掲

令和5（2023）年度 稲村公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	子ども体験塾 (地区内児童)	塾生を募り学校とは異なる体力づくり、ものづくり、芋掘り等を体験しながら、コミュニケーション能力を伸ばす。	5月～12月 (実施8回)	22人 (150人)	様々な体験を通し、塾生の興味の幅を広げ、楽しく学ぶことができた。また、縦割り班で活動することで、異学年とのふれあいも図れた。	
2	いなほ学級 (地区内高齢者 66歳以上)	66歳以上の高齢者学級。健康や生きがい、仲間づくりを目的として、教養・健康講座、移動教室などを実施。	6月～12月 (実施7回)	26人 (144人)	様々な講座内容で学びの場の提供ができた。また保育園との世代間交流事業も実施でき、交流が図れた。	
3	やしお学級 (地区内住民)	成人対象の学級。健康や生きがい、仲間づくりを目的として、教養・健康講座、移動教室などを実施。	6月～1月 (実施8回)	27人 (185人)	8回講座全て実施。年間を通して学びや交流の場を提供し、受講者から「楽しく参加できた」との感想を多くいただいた。	
4	宿題お助け隊【書道】 (地区内児童)	夏休み子ども向けイベントとして地域人材を活用して実施。夏休みの宿題への援助を通して、作品づくり、仲間づくりを図る。	8月2日 8月10日	9人※1～3年 対象 6人※4～6年 対象	下野書道展に向けた書道を実施。全員が真剣に取り組み、作品を仕上げることができた。	
5	蕎麦打ち教室 (地区内住民)	地元の蕎麦打ち名人の指導で、初心者を対象とした蕎麦作りを実施。	12月23日	8人	年末の年越しそばが打てるよう、管内在住講師が本格的な蕎麦打ちを教えた。合わせて参加者の交流を促すことができた。	
6	味噌づくり教室 (地区内住民)	手作り味噌を作ることで、参加者同士の親睦を図り、食に対する興味の幅を広げる。	1月16日	18人	毎年恒例の人気の講座。美味しい味噌の作り方を丁寧に教わり、手作り味噌の良さを再確認できた。	
7	「陶芸講座」 (市民)	初心者を対象に、食器や小物などを作成した。	12月～1月 (実施3回)	7人 (21人)	公民館施設である陶芸棟を活用し、利用団体である陶友クラブと連携し実施した。参加者からは、またやってほしいとの声が聞かれた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	はつらつ講座 (地区内住民)	健康講座 家庭で簡単にできる健康体操を学び、健康寿命を延ばす。	5～6月 (実施3回)	18人 (46人)	健康工コ体操を実施。受講者は意欲的に取り組み、楽しく学びながら健康増進を図った。	
			2～3月 (実施3回)	20人 (48人)	やさしいヨガを実施。ハタヨガ、筋膜リリースヨガ、骨盤底筋ヨガを学んだ。参加者から次年度も実施して欲しいとの声が多かった。	
2	ハイキング (地区内住民)	ハイキングの楽しさを通して、健康増進を図り、合わせて他市・町の自然や文化を学ぶ。 6月…奥日光方面 9月…裏磐梯方面	6月21日	19人	季節を感じながら歩く楽しさや自然とのふれあいを体験した。9月の回は、予定したコースが熊出没により一部封鎖されており、午前のコースを変更し、事故なく実施できた。	
			9月14日	21人		
3	【新規】 グラウンド・ゴルフ 体験会 (地区内住民)	地区内住民の健康増進と親睦を図ることを目的に実施	6月17日	29人	昨年度、新型コロナウィルスの影響により開催中止したが、今年初めに実施。大会形式ではなく、競技普及のために、体験会として行った。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	スタートアップ講座	スマートフォンを使って、動画撮影や編集方法を学ぶ。	2月 (実施2回)	10人 (17人)	動画編集アプリを使って簡単な動画編集を学んだ。わかりやすい説明もあり、思ったより簡単に作業ができて好評だった。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	地域学校協働本部会議 (管内小中学校)	地域学校協働本部事業に関して、公民館が事務局となり情報交換会等を行い、学校と地域の連携を図る。 (地域学校協働本部事業)	6月16日 2月27日 (2回)	25人 22人 (47人)	学校や推進員からの要望や相談への対応、事業実施においての講師紹介や調整等、新事業に対する支援ができた。	
2	地域学校協働本部事業 稻村小学校 (地区住民、地区内地域活動団体、地区内学校教員)	各種事業を通し、学校と地域との協働・交流を図るために、以下の事業を実施した。 ・地域緑化・美化活動 ・感謝の手紙 ・校外活動引率 (地域学校協働本部事業)	5月～11月 (5回)	1,205人	学校の児童と地域住民が力を合わせて、学区内の美化や校外活動を実施した。 また、地域の方へ感謝の気持ちを表す「感謝の手紙」事業を行うことで、より地域と学校の関わりを深めることができた。	
3	地域学校協働本部事業 東原小学校（児童・地域住民）	各種事業を通し、学校と地域との協働・交流を図るために、以下の事業を実施した。 ・避難訓練（地域消防団との交流） ・農園活動 ・感謝の会 ・バター作り、乳しづり体験 ・かけ算九九大会 (地域学校協働本部事業)	5月～2月 (7回)	622人	地元消防団や、農家の方、酪農家の協力により、色々な事業を実施することで、学校と地域との協働・交流が図られた。 また、感謝の会の開催やかけ算九九大会の開催により、児童の構内活動の様子を地域の方に知ってもらうことで、より学校と地域の関係が強くなったものと考える。	
4	地域学校協働本部事業 黒磯北中学校 (生徒・地域住民)	各種事業を通し、学校と地域との協働・交流を図るために、以下の事業を実施した。 ・校内花壇整備美化事業 (地域学校協働本部事業)	6月23日	306名	校内の花壇整備に当たり、地域の高齢者の指導を仰ぎながら全校一体となり整備することができ、来校者の目を楽しませることができた。 また、事業実施時に高齢者との交流を図ることで、地域とともに学校があるということを再確認できた。	

5	「寄せ植え講座」 (東原コミュニティ会員)	寄せ植え作品を作り、植物に親しむとともに、地域住民の融和を図る。	11月25日	20人	公民館を利用して行った共催講座で、昨年に引き続き実施。会員の交流が図れた。屋外で実施。	
6	「ひょうたんランプづくり講座」 (東原コミュニティ会員)	一つ一つ形が微妙に違うひょうたんに絵の具や工具を使ってデザインし、ランプを作成。	1月27日	12人	サンプルを参考に参加者が思い思いの作品を楽しそうに作成していた。	
7	夜の公民館 (稻村地区子供会育成会連絡協議会事業)	子どもたちを夜の公民館に集め、怖い話を聞いたのち、暗くした公民館内で肝試しを実施した。	8月25日	25人	子どもたちだけでなく、怖がらせ役の役員なども準備から楽しんで行い、保護者間の交流も図れた。	
8	稻子連研修会	「不登校について」をテーマに講演会を開催した。	10月3日	33人	栃木県総合教育センターから講師を招き、事例などから親と子のかかわりあい方などを学ぶことができた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	稻村小親子ふれあい移動教室・ものづくり教室 (稻村小の親子)	移動教室を行い、親子のふれあいを深めるとともに、親同士の仲間づくりを行う。	8月16日	19人	(親子ふれあい移動教室) カンセキスタジアムのバックヤードと大谷資料館を見学し、親子で学び合う良い機会となった。また、異学年との交流や保護者同士の親睦も図れた。	
				17人	(ものづくり教室) PTA文化部と一緒にって運営し実施できた。また、親子で楽しみながらインテリアライトを作製できた。	
2	東原小親子ふれあい移動教室・ものづくり教室（東原小の親子）		7月27日	29人	(親子ふれあい移動教室) カルビーの工場とカンセキスタジアムのバックヤードを見学し、親子で学び合う良い機会となつた。また、異学年との交流や保護者同士の親睦も深められた。	

			8月19日	32人	(ものづくり教室) 多くの方が参加され、賑やかにアロマキャンドルを作ることができ、親子、保護者間の親睦を図れた。	
3	黒磯北中 P T A 文化部ものづくり 体験（黒磯北中の親子）	ものづくりを通して、仲間づくりを行い、その後の子育て情報交換に役立てる。	10月14日	9人	参加人数は少なかったが、和やかな雰囲気でひょうたんランプ作りを実施できた。中学生も一緒に参加したくなるようなプログラムにすることが課題。	
4	三校合同事業（稻村小、東原小、黒磯北中の保護者）	児童生徒の保護者を対象に講演会を実施 「子どもの心身との成長と食事の役割」	8月4日	45人	子どもの成長に合わせた食事の役割を学ぶことが出来た。参加者のアンケートも好評であった。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	稻村公民館まつり	地区内住民の文化活動・公民館利用団体の活動の発表の場を提供。	11月4, 5日	参観者 800人	模擬店、発表部門も含め通常通りの形式は、4年ぶりに開催出来た。2日目はロビーに人が溢れるほど多くの方が来場してくれた。	
2	第3回 稲村公民館川柳コンテスト (地区内住民)	今回は「ダイエット」に関する川柳を募集し、優秀作品を公民館だよりに掲載し、館内に展示した。	募集 12月～1月 展示 3月1日～3月31日	応募 227人 作品数 237作品	公民館まつり代替事業として始めた川柳も3回目。今年は、黒磯北中生から多数の応募があつたが、一般からの応募は減少。一般からの応募を増やす対策が必要。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	シェアスペースの設置	旧図書スペースを再整備し、施設内の有効活用及び人と人との交流の場所を提供する。	通年	通年	12月に整備が完了。小中学生を中心に利用者が増えている。黒磯北中生の作品展示のコーナーも設置。今後は、一般の方の利用促進を図る。	

2	スマート公民館に向けた取組 (市民、利用団体)	公民館の利便性向上を図るため、オンライン予約システムを導入する。また、地域住民の居場所づくりを進める。	1月～	—	オンライン予約システムが導入され、利用者の利便性が図られた。	
---	----------------------------	---	-----	---	--------------------------------	--

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	稲村公民館だより 発行	公民館事業への参加者募集や活動内容、地域の話題等紙面を通して、公民館の理解・地域交流等の促進を図った。	通年 (全12回)	—	公民館事業の周知など地域に向けた情報の発信ができた。	

令和5(2023)年度 とようら公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	とようら学級 (地区内高齢者)	シニア世代を対象に、健康で充実した生活を送れるよるものづくり、健康講座等を実施。	6月～1月 (全7回)	12人 (67人)	ものづくりや健康体操等を通して、充実した活動を行うことができた。作成した作品は公民まつりに展示し活動の成果を発表することができた。	
2	おやじ教室 (地区内の成人男性)	成人男性を対象に、地域社会への参加のきっかけづくりと地域と家庭内の自己有用感を高めるよう料理教室やものづくり等を実施。	6月～1月 (全7回)	16人 (84人)	ものづくりや料理教室等では受講者同士が和気あいあいとした雰囲気で活動を楽しむことができた。	
3	子ども公民館 (地区内児童)	豊浦小学校の児童を対象に、創作、文化活動等を通して、学年を越えた交流を図る。	6月～2月 (全8回)	13人 (83人)	多岐にわたる体験活動を実施し、ほとんどの活動が好評であった。	
4	浴衣リメイク教室	古着の浴衣を活用し、ワンピースを作る。日本の伝統文化である着物に触れながら受講者同士の交流を図る。	6月1日 6月8日 6月22日	9人 (23人)	浴衣のリメイクを通して日本の多様な文化に親しむきっかけとなり、充実した創作活動を行うことができた。	
5	ものづくり教室 (地区内住民)	アートフラワーリースづくりを体験し、創作活動を通じた交流を図る。	10月12日 10月19日 10月26日 11月2日	10人 (39人)	創作活動を通して受講者同士の交流も図られ、見応えのある作品が完成した。	
6	ちびっこ教室	乳幼児とその保護者を対象にリトミック教室を開催。	7月13日 7月27日 10月6日 10月20日	8組 (19組)	活動や体験を通して、子育てについて学び、保護者間の交流を図ることができた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	子どもお囃子教室 (地区内児童)	コミュニティ事業「ふれあい夏まつり」や「とようら公民館まつり」でのお囃子演奏者の育成を目的に、お囃子の練習を実施。	7月～8月 (全10回)	18人 (149人)	「ふれあい夏まつり」の他、黒磯盆踊りや公民館まつりへも出演し演奏を披露することができた。お囃子を通して伝統文化に触れる良い機会となった。	

2	健康づくり教室 (地区内住民)	「免疫力アップ」をテーマにストレッチや料理等を3回にわたり学び、心と体の健康を目指し、受講者間の交流を図る目的で実施。	9月12日 9月27日 10月3日	15人 (26人)	心身ともにリフレッシュでき、受講生同士の交流も図られ、大変好評であった。	
3	スポレクまつり	コミュニティ事業「スポレクまつり」に協力して、世代の交流や住民相互の連帯意識の向上を図り、健康で明るい地域づくりに寄与する。	10月15日		雨天のため中止	
4	消費者講座 (市民)	シニア世代に多く見られる消費者トラブルの具体例について学び、自衛のための知識を習得を目指す。	2月15日	17人 (12人)	劇やクイズ、DVD視聴、替え歌などを取り入れ、受講者も楽しく学ぶことができた。	市民大学連携講座

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	スマートフォン教室 「SNSスタートアップ講座」 (地区内住民)	スマートフォンアプリの便利な使い方を学び、情報化社会に対応できるよう支援する。	2月 (2回)	11人 (22人)	今後、スマートフォンを活用していくためのスキルアップにつながる良いきっかけとなった。	
2	ちょっとだけPC相談室	地域住民を対象に『相談室』として通年で開設。WindowsやWord、Excel等についての「ちょっとだけ聞きたく」という相談に対応し、機器操作習得等の促進を図る。	通年	(10人)	PCに関する悩みやトラブルを解消することで、個人のスキルアップにつながった。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	Work Work 体験 in 日新 (地区内児童生徒・市民)	地域全体で児童生徒を育てる意識を啓発するため、地域住民が様々な体験活動の講師として参加し児童生徒と交流する。また、活動を通して日新中学校区小中一貫教育目標である「ふるさとに誇りをもち人間性豊かにたくましく生き抜く児童生徒の育成」の具現化を図る。(地域学校協働本部事業)	—	—	新型コロナウイルス・インフルエンザ等の感染拡大の影響により中止	

2	豊浦小地域交流活動 (豊浦小児童及び地区内高齢者)	「地域連携生きがいサロン」と題し、児童が地域の高齢者等の方から料理や遊びを教わることで、地域の方との交流を深める。(地域学校協働本部事業)	—	—	新型コロナウイルス・インフルエンザ等の感染拡大の影響により中止	
3	豊浦小感謝の会 (豊浦小児童及び地区内住民)	学校行事や登下校時の見守り等、地域のボランティアに感謝の意を伝えることを目的に「感謝の会」を手紙と花の贈呈に変更し実施。(地域学校協働本部事業)	11月3日	373人	児童が心を入れた感謝の手紙や、花を渡すことにより、感謝の気持ちを表すことができた。	
4	とようらギャラリー (豊浦小児童及び地区内住民)	地域住民の作品を学校内に展示し、児童と地域住民との交流を深める。(地域学校協働本部事業)	通年	2団体	児童と地域住民との交流が深まった。また、地域住民が作品を展示する場所があることで、作品づくりの励みとなっている。	
5	地域学校協働本部会議 (地区内関係団体)	日新中学校区の地域学校協働活動の推進を図るための会議を開催。(地域学校協働本部事業)	6月2日 2月21日	49人	情報交換、意見交換を行い、学校と地域の連携・協力による具体的な活動につながった。	
6	ふれあい夏まつり (地区内住民)	コミュニティ事業「ふれあい夏まつり」に協力して地域の住民間の交流を推進し、連帯感の醸成に寄与する。	8月19日	400人	初めて豊浦小学校を会場として開催したが、来場者が多く運営側からも好評であった。中学生ボランティアも多数の参加があり地域を挙げてのイベントとなった。	
7	どんど焼き (地区内住民)	コミュニティ事業「どんど焼き」に協力して、地域の連帯感・一体感の醸成を図るとともに、地域の子供達への伝統行事の伝承を図る。	1月13日	150人	コロナ禍前から内容を変更しての実施となったが、準備から後片付けまでの活動を通して地域の連帯感の醸成や伝統行事の伝承が図られた。	
8	とようらコミュニティ推進協議会	関係団体との連携を図るとともに、協力・援助を行いよりよい活動を図る。	通年	—	豊浦小清掃等の事業活動や総会、理事会等会議開催に向けた支援を行った。	
9	自治公民館	関係団体との連携を図るとともに、協力・援助を行いよりよい活動を図る。	通年	—	自治公民館への情報提供や事業活動の支援を行った。	

10	豊浦地区子供会 育成会連絡協議会	関係団体との連携を図るとともに、協力・援助を行いよい活動を図る。	通年	—	豊浦小卒業生への記念品贈呈、総会、役員会の開催及び地域イベントへの参加支援を行った。	
----	---------------------	----------------------------------	----	---	--	--

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	豊浦小家庭教育支援 (豊浦小児童及び保護者)	豊浦小の児童と保護者を対象に親子でのづくりに挑戦する。 「親子にここに通信」を発行し、子育てに関する情報を提供する。 (家庭教育支援事業)	8月4日 12月3日 12月4日	8組 8組 6年	親同士の交流に加え、親子の交流も図られた。また、「親子にここに通信」を発行することで子育てに関する情報の提供ができた。	
2	日新中家庭教育支援 (日新中保護者)	日新中PTA対象でのづくり(苔玉づくり、デコ寿司教室)に挑戦し保護者同士の交流を図る。 (家庭教育支援事業)	8月6日 12月8日	8人 4人	小人数ではあったが親同士の交流が図られた。「デコ寿司教室」では作品の出来栄えに満足したようで大変好評だった。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	とようら公民館まつり (市民)	公民館利用団体や地域住民の作品展示、公民館講座の紹介等を実施し、地域との交流を図る。	11月18日 11月19日	400人	4年ぶりの開催となり自主サークルの作品展示や発表のほか、模擬店などコロナ禍前の内容で開催し、地域住民の交流や生涯学習の発展に寄与することができた。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年	—	身障者用トイレ及び外壁の修繕を行った。	

2	スマート公民館に向けた取組 (市民、利用団体)	公民館の利便性向上を図るため、オンライン予約システムを導入する。また、地域住民の居場所づくりを進める。	1月～	—	オンライン予約システムが導入され、利用者の利便性が図られた。	
3	とようら公民館まつり (市民)	公民館利用団体や地域住民の作品展示、公民館講座の紹介等を実施し、地域との交流を図る。				施策6-1再掲

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	とようら公民館だより発行	公民館が実施する事業の募集や報告について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行する。	通年	—	公民館事業の募集や報告等地区住民に情報を提供できた。	

令和5(2023)年度 鍋掛公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	わくわくチャレンジ塾 (鍋掛小児童)	鍋掛・豊浦小児童を対象に体験活動、ものづくり等を行い児童の自主性と世代間交流を図った。	5月～1月 (全9回)	20人 (79人)	毎回違った体験ができ、児童保護者共に好評だった。次年度も参加したいとの声が多数あった。	
2	ダンス♪あそび塾 (鍋掛小児童)	鍋掛・豊浦小児童を対象にヒップホップダンスを学び、体力づくり、仲間づくりを図った。	6月～1月 (全11回)	13人 (138人)	敬老会やなべかけまりで発表した他、閉講式では、保護者の前で発表し、子供達の成長を感じる事ができ、好評だった。	
3	なべかけふるさと講座 (鍋掛小児童及び保護者)	鍋掛小児童を対象に鍋掛地区の伝統行事の継承を図る目的で事業を実施した。 書初め（7月、1月） 凧つくり1月	7月～1月 (全3回) 7月29日 1月5日 1月5日	2人 5人 4人 (11人)	習字や凧つくりをおこなった。出来上がった凧をグラウンドであげ、楽しんでいた。今後も継続し伝統行事の継承を図りたい。	
4	なべかけ学級 (地区内高齢者)	高齢者が健康で生きがいのある生活を送るために知識を深めるとともに、学級生同士の交流を図った。	5月～1月 (全10回)	20人 (127人)	毎回好評で、「楽しかった」という声が多くあり、参加者同士の交流の場となっていた。80代が多く運転ができないになると参加が難しいと困っていた。	
5	ものづくり講座	壮年を対象にものづくりなどを通して、生きがいづくり、仲間づくりを図る。	9月 (全4回)	8人 (32人)	一閑張りでバックとザルを作成し、千人展で展示了。素敵な作品に仕上がり、仲間づくりも出来好評であった。	
6	正月飾り教室	壮年を対象に日本の風物詩である年越しの行事や正月飾りを学ぶとともに地域住民の親睦を図る。	12月10日	11人	寄せ植えを行なながら、参加者同士の交流が図れた。	
7	料理教室	壮年を対象に料理を通して、生きがいづくり、仲間づくりを目指す。	1月～3月 (全4回)	7人 (25人)	お料理を学びながら、参加者同士の交流場となり、好評であった。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ハイキング	植物観察を兼ねたハイキングで、体力の向上と親睦を図った。	6月18日	9人	那須烏山市内を散策の他、山あげ会館、竜門の滝、島崎酒造等を見学し健康維持と共に、親睦が図れた。	
2	野球大会	自治公民館対抗スポーツ大会の開催により、健康増進を図るとともに、地域住民の親睦を深め、明るい地域づくりを目指した。	7月第1・第2日曜日 (2日間)	-	-	中止
3	奥州道中歴史講座	市民に鍋掛地区をとおる奥州道中の歴史や史跡を紹介し、郷土愛と地域の活性化を目指す。	10月～2月 (全5回)	21人 (96人)	毎回人気のある講座で、地元の歴史を学ぶことができ好評である。	
4	健康教室	壮年を対象にストレッチ等による健康維持と仲間づくりを図る。	11月～12月 (全4回)	8人 (27人)	3B体操を実施し、参加者からは、「腰痛が良くなった」「続けてみたい」等声があり、健康維持と仲間づくりが図れた。	
5	婦人バレーボール審判講習会	バレーボールの技術の向上と地域住民の親睦を深める。	開催日未定	-	-	中止
6	婦人バレーボール大会	自治公民館対抗スポーツ大会の開催により、健康増進を図るとともに、地域住民の親睦を深め、明るい地域づくりを目指す。	11月26日	-	-	中止
7	卓球大会	自治公民館対抗スポーツ大会の開催により、健康増進を図るとともに、地域住民の親睦を深め、明るい地域づくりを目指す。	1月28日	-	-	中止

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ICT推進講座	スマートフォン講座を実施した。	7月～8月 (全4回)	15人 (51人)	スマートフォン操作について、詳しく学ぶことができ、参加者に好評だった。	

2	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK（見る・来る）	エール那須塩原家学（うちがく）プロジェクトの一環として、公民館地域・事業等の紹介をインターネット（YouTube）で配信	通年	-	配信を計画したが、事業が再開し配信出来なかった。	
---	----------------------------	--	----	---	--------------------------	--

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	日新地区地域学校協働本部会議 (地区内関係団体)	日新中学校区の地域学校協働活動の推進を図るために会議を開催した。	6月2日 2月21日 (2回)	25人 24人 (49)人	情報交換、意見交換を行い、学校と地域の連携・協力による具体的な活動に繋がった。	
2	WorkWork体験 in 日新 (地区内小中学生・市民)	地域全体で児童生徒を育てる意識を啓発するため、地域住民が様々な体験活動の講師として参加し児童生徒と交流する。また、活動を通して日新中学校区小中一貫教育目標である「ふるさとに誇りをもち人間性豊かにたくましく生き抜く児童生徒の育成」の具現化を図った。(地域学校協働本部事業)	9月9日	-	-	新型コロナウイルスの影響により中止
3-1	田植え体験 (鍋掛小5年)	稻を育てることで食物を大切にする心を育てる。 (地域学校協働本部事業)	5月9日	児童20人 PTA20人 講師3人	自分たちの手で苗を植えることで、食物を大切にしようとする心を育てることができた。また、地域の方や保護者と共に作業を行うことを通して、感謝の気持ちを育てることができた。	
3-2	美化活動 (鍋掛小全年)	苗植えを通して共に作業する喜びを感じるとともにふれあいと校内美化に務める。 (地域学校協働本部事業)	6月15日、 11月10日 (2回)	児童168人	外部ボランティアは要請せず実施した。	
3-3	親子ものづくり (鍋掛小3年)	親子で絵手紙作り(地域学校協働本部事業)	10月18日	児童35人 PTA33人	親子のコミュニケーションを深めることができた。	
3-4	親子ものづくり (鍋掛小1年)	親子でリース作り(地域学校協働本部事業)	10月25日	児童24人 PTA20人	親子のコミュニケーションを深めることができた。	

3-5	感謝の集い (鍋掛小全年)	日頃からお世話になっている地域の方に対して、感謝の気持ちを表す。（地域学校協働本部事業）	12月2日	児童168人	心を込めた感謝の手紙や鉢植えを渡し、日頃からお世話になっている方々に、より深い感謝の気持ちを伝えることができた。	
3-6	親子学習会 (鍋掛小2年)	人権教室（地域学校協働本部事業）	6月21日	児童20人 PTA20人 指導者3人	相手を大切に思ったり、お互いに認め合ったりすることの大切さや、親子の絆の大切さに気付くことができた。	
3-7	親子学習会 (鍋掛小4年)	メディア教育について（地域学校協働本部事業）	1月30日	児童35人 PTA32人 講師1人	インターネットを使った人権侵害の具体例について、理解を深めることができ、親子で同じ内容を学習することで、家庭での約束について考えることができた。	
3-8	鍋掛に棲息する生き物の講話 (鍋掛小3年)	地域の人の講話を聞き、美しい自然を守り大切にしようと心を養う。（地域学校協働本部事業）	1月30日	児童34人 PTA3人 一般・その他1人 講師1人	地域の自然への関心の向上につながった。	
3-9	和太鼓指導 (鍋掛小クラブ)	和太鼓指導（地域学校協働本部事業）	5月8日～2月5日 (13日)	児童10人 一般・その他1人 講師1人	和太鼓を演奏する技術が身につき、伝統文化への理解が深まった。また、礼儀作法、協調性、向上心や表現力等が身についた。	
3-10	茶道教室 (鍋掛小クラブ)	茶道教室（地域学校協働本部事業）	5月8日～2月5日 (13日)	児童8人 PTA1人 一般・その他1人 講師1人	茶道の作法に慣れ、身に付け、人と人のつながりの大切さを学び、日本の伝統文化を大切にしつつ、その心を受け継ごうとする心を育てる。	
3-11	餅つき (鍋掛小)	餅つき唄保存会に所属していた方、PTA役員に協力をいただき、全校児童が交代で餅つきをおこなった。（地域学校協働本部事業）	12月2日	児童168人 PTA25人 一般・その他10人	地域の方とのふれあいを通して、地域の一員としての意識が高まり、昔から続く伝統行事のよさにふれることができた。	

4	なべかけまつり (市民)	地域住民の交流と鍋掛地域産業の発展と活性化を図った。	11月12日	約1,000人	コミュニティを中心に、鍋小・日新中の生徒・地域の協力のもと、4年ぶりに地域住民の交流と産業の活性化を図ることができた。	
5	鍋掛地区自治公民館支援事業	地区内住民	通年	-	自主活動の支援を行つた。	
6	敬老会	敬老対象者に祝い品等を贈る事業に事務局として協力する。	9月17日	対象268人	自治会長を中心に、鍋小・日新中の生徒・地域の協力のもと、4年ぶりに鍋掛公民館体育館にて盛大に開催し、招待者に喜んでもらえた。	
7	子ども育成事業	各種事業を通して、地区子供会育成会を事務局として支援する。	通年 子ども工作教室 8月5日 親子映画会 12月27日	子ども工作教室 児童36人 親子映画会 児童83人 保護者他75人	親子工作教室及び親子映画会を実施し、親子でのふれあいを行い、有意義な時間を過ごせた。	
8	鍋掛福寿会	鍋掛福寿会が実施する各種事業について、事務局として支援、協力をを行う。	通年	-	花壇の手入れ等を行い、環境美化に努めてくれた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	家庭教育学級 (鍋掛小)	鍋掛小児童と保護者で企画し事業を行う。 (家庭教育支援事業)	8月～12月 (全2回) 8月1日 12月3日	めんたいパーク 大洗 保護者13人 児童13人 スノーキャンドル 保護者18人 児童13人	8月には、茨城県のめんたいパーク、1月には、スノーキャンドルを作成し、親子でふれあいの時間を持ち、楽しむことができた。	
2	家庭教育通信 (鍋掛小)	鍋掛小児童の保護者向けに、親子で楽しめるお菓子作りや、子育てに関する情報を提供。 (家庭教育支援事業)	4回	-	子育てに関する情報を提供することができた。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名	事業内容	期日 (回数)	期日	評価	備考
1	なべかけ千人展	公民館利用団体の活動成果の発表の場を提供し、各種活動の普及を促進するとともに、利用者相互の交流を図り、地域の輪を広げる。	11月11日 11月12日	約500人	千人展へ向けた作品作りに意欲を持ち、利用者相互の交流を図り、地域の輪を広げることができた。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名	事業内容	期日 (回数)	期日	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館の利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年	-	トイレ洋式化、電話、火災感知器、自動ドア、桜の木剪定及び伐採、夜間照明、体育館駐車場外灯、体育館天井照明、トイレ小便器自動水栓、体育館窓ガラス交換を行い環境を整えることができた。	
2	スマート公民館に向けた取組 (市民、利用団体)	公民館の利便性向上を図るため、オンライン予約システムを導入する。また、地域住民の居場所づくりを進める。	1月～	-	オンライン予約システムが導入され、利用者の利便性が図られた。	
3	なべかけ千人展	公民館利用団体の活動成果の発表の場を提供し、各種活動の普及を促進するとともに、利用者相互の交流を図り、地域の輪を広げる。			施策6-1再掲	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館だよりの発行	公民館が実施する事業の募集や報告について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行する。	月1回発行 (5、2月を除く)	-	講座の募集や、公民館行事等の情報提供をタイムリーにお知らせすることができた。	
2	ホームページ等での事業募集	公民館が実施する事業の募集や報告について、地区内住民へ周知するため、ホームページ等で広報する。	随時	-	市民に公民館活動をPRできた。	

3	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK（見る・来る）	エール那須塩原家学（うちがく）プロジェクトの一環として、公民館地域・事業等の紹介をインターネット（YouTube）で配信				施策3-2再掲
---	----------------------------	--	--	--	--	---------

令和5(2023)年度 東那須野公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	おもと大学 (65歳以上の地区内住民)	地区内の65歳以上の高齢者を対象に、教養講話、移動教室、体力づくり、音楽会、ものづくり等を実施した。	5月～12月 (実施8回)	51人 (269人)	従来の参加型で開催。音楽会では全員で合唱するなど、高齢者の生きがいづくりや交流の促進を図ることで、高齢者的心身の衰え予防等に貢献することができた。	
2	東那須野わんぱく少年団 (地区内児童)	主に小学校低学年と保護者を対象に、ものづくり、リズム体験、工場見学、野外昆虫観察、調理実習等を実施した。	6月～12月 (8回)	40人 (児童のみ) (186人) ※延べ人数内訳 児童112人 保護者74人	普段、学校や家庭では体験できないような多種多様なプログラムを実施し、アンケート結果では、児童と保護者ともに毎回高い評価を得た。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第19期東那須野おはやしクラブ (地区内児童)	地区内の小学生を対象に、地元の保存会を講師として、週一回ペースで、おはやしを練習する教室を開設した。	6月～11月 (24回)	14人 (246人)	今年度はコロナ禍が明け、多くのイベントが再開したことにより、練習の成果を披露する機会が増え、受講生のモチベーションアップにもつながった。	
2	第40回東那須野地区自治公民館対抗男子ソフトボール大会 (地区内18歳以上の男性)	地区内の男性向け体育事業として、自治公民館対抗のソフトボール大会を実施する。	6月11日 ※雨天中止	—	台風の影響により開催中止。 ※参加申込：7地区	
3	第8回東那須野地区自治公民館対抗女子さいかつぼーる大会 (地区内18歳以上の女性)	地区内の女性向け体育事業として、自治公民館対抗のさいかつぼーる大会を実施した。	7月2日	25人	4年ぶりの開催となったためか、参加申込が3地区と少なかつたので、公民館運営協力委員も参加し、4チーム総当たり戦で実施した。	

4	第9回夏休みこども書道教室 (地区内児童)	地区内の小学生を対象に、夏休みと冬休みそれぞれ1日（午前、午後の2回）ずつ実施した。	8月2日	34人	人気の教室のため、午前と午後の2部制で実施した。長期休業中の課題サポートや礼儀作法の習得に貢献した。	
			12月23日	24人		
5	第15回東那須野地区シルバースポーツ大会 (地区内高齢者)	地区内の高齢者の交流と日頃の体力づくりの成果の発表として、5種目のスポーツ大会を実施した。	10月8日	参加者 108人 ボランティア 8人	コロナ前より参加チームが減少したが、競技を通じて心身のリフレッシュ、親睦が図られた。また、中学生ボランティアが参加し、場を大いに和ませた。	
6	ハイキング (地区内住民)	茂木町の未成線（長倉線）約6kmをガイドの解説を聴きながら歩き、参加者の健康アップと親睦を図ると共に、長倉線の歴史について学習した。	11月26日	15人	あいにくの小雨模様だったが、当時のまま残るトンネル遺構内で鉄道の歴史に関する映画を鑑賞するなど、ツアーならではの体験ができ、アンケート結果も好評だった。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	【新規】防災サバイバル教室 (市民)	地震などの自然災害に備え、防災グッズ作りや災害時支援講習、東日本大震災被災地視察研修等を通して、様々な角度から防災に関する基礎知識を学習した。	6月～9月 (5回)	21人 (93人)	視察研修では、東日本大震災で被災された方を講師とし、往路の車中で被災体験を聴講後に被災地を視察するなど、様々な角度から防災に関する学びの場を提供することができ、アンケート結果でも高評価を得た。	市民大学連携講座
2	プログラミング教室 (地区内児童)	小学校高学年を対象に、プログラミングの基礎について学習した。	7月～12月 (5回)	15人 (64人)	プログラミングソフト「スクラッチ」を使用して、様々なゲーム作りを体験することにより、プログラミングへの興味を持つきっかけ作りができた。最終回では、保護者向けの発表会を行い、制作したゲームを受講生毎に披露した。	

3	スマートフォン活用講座 ～もうひとりでできるもん！～ (地区内住民)	スマートフォン初心者から少しステップアップを目指し、初級～中級向け講座を実施した。	1月～2月 (4回)	15人 (54人)	スマホの安全な使い方、カメラ機能・QRコードの活用やLINEなどの便利機能を使いこなすこと目的とした講座を実施した。各自が機器操作をしながら繰り返し学習することで、基本的な操作の定着を図った。	
4	なすしおばら生涯学習MILK（見る・来る）	エール那須塩原家学（うちがく）プロジェクトの一環として、公民館事業や地域イベント等の紹介を実施した。	通年		公民館ロビーに設置されているモニターを通して、公民館利用団体の活動内容、公民館主催事業、地域イベントの動画等を、一年を通して発信した。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	花いっぱい運動 (子ども会会員)	地域美化運動の一環として、地域内の花壇やプランターに花苗を植栽した。	通年	28人 (参加者数) ※2地区参加	地域美化を充実させると共に、児童の情操育成を図ることができた。今年度は助成金交付方式に変更したが、参加地区増には繋がらなかつた。	
2	第9回みね山花まつり (市民)	東那須野公園（みね山）において、おはやしの演奏やお楽しみ抽選会等のイベントを実施した。	4月1日	500人	水仙と桜の開花時期が重なり、大勢の来場者で大いに賑わった。コロナ禍で外出自粛を余儀なくされてきた中、4年振りのイベント開催を誰もが待ち望んでいた様子が窺えた。	

3	【新規】 新庁舎建設用地の有効活用（植栽ゾーンにおける種まき）	新庁舎用地において、地域住民と地元小・中学生の協働によるひまわりの植栽（種まき）を実施した。	5月28日 5月31日	343人	新庁舎用地の空き地（約10,000m ² ）にひまわりの植栽（種まき）を実施した。地元地域の良好な景観づくりに携わることで、子どもたちの自信と郷土愛の育成につながった。 猛暑の中、ひまわり畑の草取り、周辺用地の草刈りなど、多くの地域住民が積極的に参加協力して環境整備に携わった。	
4	【新規】 絵本と出会うまちたんけん	地区内の小学1・2年生親子を対象に那須塩原駅周辺のまちたんけんと訪問先での絵本の読み聞かせを実施。学校と地域の交流促進を図った。	6月17日 (1回)	親子15組 30人	中学生のボランティアなどの支援もあり、地域学校協働本部事業として地域を知り、3校の児童・生徒・保護者の交流や仲間づくりを行うことが出来た。	
5	【新規】 みんなの会議	地域住民と児童生徒が一堂に会して、地域の祭りやイベントの企画運営について話し合った。	6月22日	35人	地域の伝統行事である盆踊り大会の企画運営について、ふれあい推進協議会役員と小・中学生でワークショップを実施した。 会議での意見を踏まえ、盆踊り大会において、小・中学生ボランティアが「子どもお楽しみ会」を運営し、会場を盛り上げた。	
6	東那須野地区ふれあい盆踊り大会(市民)	那須塩原駅東口市営駐車場において、盆踊り大会を実施した。	8月16日	800人	雨交じりの開催となったが、4年振りにコロナ前に近い形で盆踊り大会を開催した。 小・中学生ボランティアの運営による「子どもお楽しみ会」や中学生の団体踊りへの参加など、多くの子どもたちが参加し、会場を大いに盛り上げた。	

7	児童作品展 (子ども会会員)	夏休み中に、地区子ども会に所属している小学生の絵画、工作、書道を展示了。（出展数61点）	8月19日～8月24日	43人 (来場者数)	夏休み期間中に作品づくりを行うことによって、児童の健全育成を図ることができた。出展数と入場者数の減少が比例していることから、来年度は実施方法を見直す。	
8	東那須野公園水仙植栽 (地区内住民)	東那須野公園（みね山）において、水仙植栽事業を実施した。	11月5日	69人	自治会を中心に、中学生ボランティア、地元企業（ブリヂストン）も参加し、地域活性化の取組を継続することができた。	
9	那須野巻狩大将鍋まつり (市民)	那須塩原駅西口広場において、巻狩鍋の配布やステージでの巻狩太鼓等披露、流し踊りと山車の練り歩きを実施した。	12月10日	4,000人	民間主導による新たなまつり開催に向けた試みとして、「那須野巻狩大将鍋まつり」を開催した。 流し踊りに中学生ボランティアが参加し、会場を盛り上げ、予想を大きく上回る大盛況となつた。	
10	東那須野地区花市 (市民)	那須塩原駅東口市営駐車場において、地域に継承される新年を祝う祭りを実施した。	1月8日	800人	早朝に降った雪を除雪して会場設営を行なつた。 豚汁、甘酒の無料配布や射的、昔の遊び、子どもおはやし等のステージパフォーマンス、お楽しみ大抽選会など大いに盛り上がつた。地元企業が花木販売を行ない、花市らしい風情が見られた。	
11	大原間スポーツ少年団ボランティア活動 (大原間小)	大原間スポーツ少年団によるボランティア活動として、東那須野公園に水仙を植栽し、地域緑化活動に取り組んだ。（地域学校協働本部事業）	10月14日	174人 (参加者数)	地域貢献の一環として、市民の憩いの場である東那須野公園に水仙を植栽することで、児童の郷土愛育成が図られた。	
12	大原間文化祭 (大原間小)	地域の協力団体等による各種体験活動を実施することで、地域との交流や子供たちの表現力の向上を図った。（地域学校協働本部事業）	11月3日	1,134人（児童634人、PTA関係500人） 講師28団体	地域の方々の協力によって、多種多様な体験を行うことが出来、地域との絆を深められた。	

13	大原間小学校クラブ活動 (大原間小)	地域の指導者による各種体験活動を実施することで、地域との交流や伝統文化への理解向上を図った。 (地域学校協働本部事業)	5月～2月 (16回)	26人 (462人)	地域伝統芸能の三本木獅子舞を体験することにより、地域の歴史や伝統に興味を持つきっかけ作りになった。	
14	波立小学校花苗植え活動 (波立小)	児童とPTA環境委員会が協力して、環境美化活動(花苗植え)を実施した。 (地域学校協働本部事業)	6月15日 11月9日	85人 85人	花苗を植えることで自然に対する愛情を育むとともに、道路沿いの花壇を整備することを通して、地域との連携を図ることができた。	
15	【新規】波立小学校茶道教室 (波立小)	地区内の人材活用を生かして、茶道の作法を学習するとともに、日本の伝統文化に触れる機会を得た。 (地域学校協働本部事業)	10月26日	15人	地域にある茶道教室で、実際に茶道を体験することを通して、地域の人たちとの交流を図ることができた。	
16	波立小学校感謝の会 (波立小)	日頃お世話になっている地域の方たちへ、感謝の手紙朗読と花束贈呈などを行った。 (地域学校協働本部事業)	11月25日	92人	会を通して、日頃からお世話になっている方たちへ、児童から直接感謝の思いを伝えることができた。	
17	東那須野中学校みんなで作る花壇づくり (東那須野中)	学校敷地内の花壇整備を実施した。 (地域学校協働本部事業)	5月24日～31日 12月1日～8日	45人 45人	花壇づくりの体験を通して、生徒の環境美化意識の向上を図ることによって、地域環境美化の意識を育むことができた。	
18	東那須野地区ふれあい盆踊り大会の企画・運営協力 (東那須野中)	地域の盆踊り大会の企画・運営に協力し、地域の人との交流や郷土愛を深め、将来の東那須野地区のまちづくりの担い手を育てた。 (地域学校協働本部事業)	8月16日	24人	事前に主催者側と協議できたことで、主体的に盆踊り大会の運営ボランティアに参加することができた。将来のまちづくりの担い手を育てるための良い機会となつた。	
19	第28回東那須野公民館まつりの企画・運営協力 (東那須野中)	地域の祭りの企画・運営に携わることで、お祭りの大切さや地域の良さを知ることにより、地域の人との交流や郷土愛を深めた。 (地域学校協働本部事業)	11月19日	10人	公民館まつりの運営ボランティアとして参加することで、地域との交流を深め、地域の良さを知ることができた。郷土愛を深める良い機会となつた。	
20	東那須野わんぱく少年団 (地区内児童)	主に小学校低学年と保護者を対象に、ものづくり、リズム体験、工場見学、野外昆虫観察、調理実習等を実施した。				施策1-2再掲

21	第19期東那須野おはやしクラブ (地区内児童)	地区内の小学生を対象に、地元の保存会を講師として、週一回ペースで、おはやしを練習する教室を開設した。				施策2-1再掲
22	プログラミング教室 (地区内児童)	小学校高学年を対象に、プログラミングの基礎について学習した。				施策3-2再掲
23	第9回こども書道教室 (地区内児童)	地区内の小学生を対象に、夏休みと冬休みそれぞれ1日（午前、午後の2回）ずつ実施した。				施策2-4再掲
24	地域学校協働本部会議 (管内小中学校)	地域学校協働本部事業の推進に関し、関係団体で構成した会議を開催した。	5月23日 2月20日	21人 20人	地域学校協働本部事業及び東那須野中学校区の地域学校協働活動の実施計画、実施状況等について、情報共有を行った。 コロナ禍は中止が余儀なくされていたさまざま事業が再開し、活発な協働活動が実施されたことを確認した。	
25	東那須野公民館運営協力委員会	公民館運営協力委員会の支援・連携・協力を行った。	通年		コロナ禍が明け、多くの事業が再開できたことから、スポーツ大会、公民館まつりなどのイベントにおいて、協力委員の活躍の場が広がった。	
26	東那須野地区子ども会連合会	子ども会連合会の運営及び事業の支援・連携・協力を行った。	通年		児童作品展や公民館まつり模擬店での、準備・運用・片付け等において、理事の連絡調整を図った。	
27	東那須野地区婦人会	婦人会事業の支援・連携・協力を行った。	通年		地域におけるさまざま事業が再開され、婦人会も活発な事業活動が実施された。各事業で連携、支援を行うことができた。	
28	東那須野地区自治公民館連絡協議会	東那須野地区の自治公民館連絡協議会での、運営及び事業の支援・連携・協力を行った。	通年		さいかつぼーる大会を4年振りに開催することができ、協力委員と共に運営の支援を行った。	

29	東那須野地区ふれあい推進協議会	コミュニティの運営及び事業の支援・連携・協力を行った。	通年		多くの事業を4年振りに実施することができた。新庁舎用地のひまわり畑植栽事業における種まきや草刈り等、盆踊り大会や那須野巻狩大将鍋まつり等イベントの運営に大勢の方が携わった。年間を通じての各種会議の運営や、イベントの準備等の支援を円滑に行うことができた。	
30	東那須野公民館利用団体連絡協議会	公民館の適正利用に関する協議・調整、年1回の施設清掃活動を実施した。	通年		公民館定例利用団体の連絡調整を行い、館の適正な利用について啓発を図った。	
31	東那須野地区遺族会	遺族会の運営及び事業の支援・連携・協力を行った。	通年		会員の減少、高齢化が進み、会の活動が難しい状況にある。会の円滑な運営のために引き続き支援する必要があるが、会の今後の在り方について議論することが必要。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	だっこ！（親子ふれあい講座） (地区内未就学児と保護者)	未就学児と保護者を対象に、子育てについての講話や体操、ものづくり、リズム教育等を通じて、家庭教育の促進を図る。（家庭教育支援事業）	6月～12月 (7回)	16組33人 保護者16人 幼児17人 (166人)	家庭で孤立しがちな保護者同士の情報共有や仲間づくりの場として、親子あるいは親のみで活動し、交流することができた。	
2	【新規】 保護者のためのプログラミング教室 (地区内小・中学生の保護者)	小・中学校で必修となったプログラミング教育を保護者が実際に体験することにより、家庭教育の促進を図る。（家庭教育支援事業）	10月22日	6人	当初、小学生保護者を対象に募集したが、申込が伸びなかったため、中学生保護者に対象を広げて実施した。最終的に、全員がプログラミングしたロボットカーを動かすことができた。	

3	大原間小学校家庭教育支援事業 (大原間小)	大原間小学校 P T Aと公民館が連携し、家庭教育に関する学習、親子交流事業を実施した。 (家庭教育支援事業)	9月～12月 (実施6回、中止1回)	1,264人	学年部会行事を一堂に会して実施。同学年の保護者同士の情報交換が行われ、家庭教育の支援につながった。	
4	波立小学校家庭教育支援事業 (波立小)	波立小学校 P T Aと公民館が連携し、家庭教育に関する学習、親子交流事業を実施した。 (家庭教育支援事業)	6月～12月 (6回)	134人	全学年の親子活動を通して保護者同士の情報交換を行い、家庭教育を支援することができた。	
5	東那須野中学校家庭教育支援事業 (東那須野中)	東那須野中学校 P T Aと公民館が連携し、家庭教育に関する学習を実施した。 (家庭教育支援事業)	6月～12月 (3回)	(426人)	保護者がともに活動する機会を提供することで、家庭教育を支援することができた。	
6	家庭教育通信の発行 (地区小中学校)	3校の家庭教育事業の報告を2月に発行。 (配布数1,100部) (家庭教育支援事業)	2月20日 (1回)	—	3校の家庭教育を紹介することで相互の情報交換を通じてよりよい家庭教育支援へのきっかけとなった。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第28回東那須野公民館まつり (市民)	公民館の主催講座、利用団体等の趣味の作品の展示や、学習成果の発表の場、地域親睦の場として、イベントを実施した。	11月19日	2,000人 (来場者数)	コロナ禍前の状態にはほぼ戻った内容で実施することができ、多くの来場者があった。地域の学校や各種団体との連携を強化した結果、中学生ボランティアの活躍の機会を広げることができた。関係者アンケートの結果も大変好評だった。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画な改修及び維持管理に必要な修繕を実施した。	通年		利用者が安全安心に利用できる環境を整備するために、年度を通して、施設の維持管理に努めることができた。	

2	スマート公民館に向けた取組 (市民、利用団体)	公民館の利便性向上を図るため、オンライン予約システムを導入する。また、地域住民の居場所づくりを進める。	1月～	—	オンライン予約システムが導入され、利用者の利便性が図られた。	
---	----------------------------	---	-----	---	--------------------------------	--

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	東公だより発行	地区住民に公民館事業や地域の情報を提供した。	月1回発行		主催事業の募集や実施報告、情報提供等を、毎月、地域住民に向けて発信した。	
2	なすしおばら生涯学習MILK（見る・来る）	エール那須塩原家学（うちがく）プロジェクトの一環として、公民館事業や地域イベント等の紹介を実施した。				施策3-4再掲

令和5(2023)年度 高林公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	寄せ植え講座 (市民、地区内住民優先)	寄せ植えを通して、生きがいづくりと仲間づくり	5月28日、 12月9日 (2回)	51人	花を愛することで心豊かに彩りを与えるとともに、仲間づくりにもつながった。	
2	キラリ TAKABAYASHI ライフアップ講座 Part2 (市民、地区内住民優先)	地域でキラリ輝いて活躍している方を講師に招き、地域のブランド力を高め、充実した人生を送ることができるよう支援する。 ①珈琲講座②高林焼体験 ③チーズの楽しみ方④カカオの魅力の4講座	7月22日 8月10日 9月5日 10月3日 (全4回)	23人 (80人)	地域でキラリ輝いて活躍している方を知ることで、地域のブランド力を高めることができた。アンケートの結果は、毎回ライフアップにつながった高評価。	
3	【新規】 高林そば打ち道場 (市民・地区内住民優先)	そば打ちを学ぶことで、地域に根付く文化を理解し、ものづくりへの関心と仲間づくりを支援する。	9月16日 10月14日 12月16日 (全3回)	14人 (34人)	蕎麦処高林において、そば打ちを学ぶことで郷土愛が深められた。アンケートの結果もリピートを求める高評価。	
4	【新規】 飾り巻き寿司教室 (市民、地区内住民優先)	季節の行事、中秋の名月、ハロウィン、クリスマスに合わせた「飾り巻き寿司」を学びながら、ものづくりへの関心と仲間づくりを支援する。	9月30日 10月28日 12月23日 (全3回)	17人 (44人)	季節の行事を楽しみ心豊かになった。アンケートでも高評価。	
5	少年教室 「いきいきわくわく体験楽好」 (地区内児童)	地域の特色ある環境を利用し、学校では体験できない集団学習や活動を通して、協調性を養い、豊かな心と創造性を育む。 ものづくり体験①木工教室 ②隠れ家つくり③ハロウィンお菓子つくり④クリスマスツリー・しおり	8月2日 9月16日 10月20日 12月3日 (全4回) 各回募集	71人	ものづくりの楽しさを通じ、豊かな心と創造性を育むことができた。	
6	【新規】冬休み宿題お助け隊書初教室 (地区内児童)	日本古来の伝統文化の書道を学び知識を深め、豊かな心と創造性を育む。	12月28日	7人	参加者は、先生のアドバイスにしっかり耳を傾けることで、作品の完成度がより高まった。	

7	高齢者学級 「いきいき学級」 (60歳以上の地区内住民)	高齢者が心身共に健康で過ごすための生きがいづくりと仲間づくりを図る。 ①開講式（笑いの体操・リラックスミュージック） ②移動教室（県防災館・大谷） ③ディスコン体験 ④保育園児との交流・オレオレ詐欺注意呼びかけ ⑤閉講式（Café気分で音楽会）	6月～12月 (全5回)	29人 (155人)	参加者同士のコミュニケーションができる、いきいきと過ごすことができている。参加者のアンケートによる満足度は高く目的を達成できた。	
---	------------------------------------	---	-----------------	---------------	--	--

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	【新規】短歌教室 (市民)	自作のうたの批評会及び現代短歌の学び。講師は高林地区の歌人。講師は全12回無償ボランティア講師で対応。	通年（全12回）	17人 (159人)	参加者から新年度4月から自主サークルとして活動するきっかけが作られたことは高評価。	
2	【新規】日本古来の伝統文化「三道」体験講座 (市民・地区内住民優先)	伝統文化を体験 茶道、華道、書道の三道を体験	6月～7月 (全6回)	16人 (81人)	茶道、華道、書道の三道を体験することで、ひとつひとつ所作が生活の基本であることを学び、心豊かになった。アンケート結果も高評価。	
3	郷土の歴史講座 (江戸時代の高林) (市民)	今年は栃木県誕生150年の記念年。高林地区内の歴史にスポットを当てた講座。郷土愛と地域の活性化を目指す。 ※古文書を学ぶ座学と共に会津中街道と文化財の見学を行った。	10月7日 10月14日 10月21日 10月28日 (全4回)	25人 (83人)	受講者の学ぶ意欲が高く、講師のスキルも高く質問への回答も的確であった。受講者から次年度実施の要望が多く高評価の講座	市民大学連携講座
4	グラウンドゴルフ大会 (60歳以上の地区内住民)	グラウンドゴルフを通して体力の維持と親睦を深め明るい地域づくりをする。	5月25日 11月1日 (全2回)	21人 (41人)	体力の維持と親睦を深め明るい地域づくりができた	
5	ソフトボール大会 (地区内成人)	ソフトボールを通した体力向上と親睦を深め明るい地域づくりを図る。	7月2日	350人 (11チーム) 11自治公民館	4年ぶりのスポーツ大会の実施、スポーツを通じ親睦を深め地域の人同士のコミュニケーションを図ることができた。	

6	輪投げ大会 (60歳以上の地区内住民)	輪投げを通した体力維持と親睦を深め明るい地域づくりを図り、地域の高林麵道楽慰問による蕎麦ぶるまいにより活力倍増を目指す。	6月14日	31人	4年ぶりの開催、高林福寿会連合会と共に催。輪投げを通じ親睦を深めるとともに、高林麵道樂の蕎麦ぶるまいにより地域の活力倍増につながった。	
7	さいかつぼーる大会 (中学生以上の地区内住民)	さいかつぼーるを通した体力向上と親睦を深め明るい地域づくりを図る。	12月17日	108人 (10チーム) 6自治公民館	4年ぶりのスポーツ大会の実施、スポーツを通じ親睦を深め地域の人同士のコミュニケーションを図ることができた。	
8	ボウリング大会 (小学生以上の地区内住民)	ボウリングを通した体力向上と親睦を深め明るい地域づくりを図る。	3月2日	40人	高林子ども会育成会連絡協議会と共に催。子どもから腕自慢の大人が参加。世代間交流とともに親睦を深め地域の人同士のコミュニケーションを図ることができた。	
9	いきいき百歳体操	健康づくり及び仲間づくりによりいきいき明るい地域づくりを図る。	4月～3月 (全27回)	10人 (184人)	年度はじめに保健指導及び、体力測定を実施。年度末にも専門家による講話を実施。毎週継続的に参加することで、健康を維持できるとともに、高齢者が孤立しない仲間づくりもできた。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	シニアスマホ講座 (60歳以上の地区内住民)	知って役立つスマートフォン講座で安全な使い方や市のみるメールや市のLINE登録などを実施	9月8日 9月22日 9月28日 (全3回)	18人 (51人)	スマホの奥深さと楽しさを学び、市からの情報を手にいれることで災害時などにも備えた。アンケート結果でももっと学びたいとの高評価を得た。	
2	【新規】 小中学生のプログラミング教室 (地区内小中学校の児童・生徒)	プログラミングを学びながら、モノづくりへの関心と仲間づくりを支援する。マイクロビットを使って、プログラミングで動きをつける。	12月2日 12月10日 12月23日 (全3回)	7人 (19人)	参加者はとても興味深く受講。ものづくりへの関心が深かった。アンケート結果でも高評価。講師の助手として高校生ボランティアも協力を得た。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	地域学校協働本部事業「高林中学校地域学校協働本部会議」	公民館が事務局となり、情報交換等による学校と地域の連携を図る。	6月1日 2月27日 (年2回)	24人 (48人)	会議は、地域課題を話し合い「子どもの課題は、親の課題つまり地域課題」であることを共有し、地域活動する上でできる取組を共有。次に進む道しるべを確認することができた。	
2	地域学校協働本部事業「高林そばフェスタ（高林中）」	地域に根付いているそば文化を、全校そば打ち体験を通して学ぶことにより、学校と地域の交流を図る。	9月17日	102人 (102人)	地域団体に指導を受けながら蕎麦打ちを体験することで、地域産業に対する理解を深め、郷土愛を育むことができた。一方学習の時間の面で厳しかったため今後、敬老会との開催の在り方の調整が必要。	
3	高林地区自治公民館連絡協議会	各種事業に対する事務等の支援、協力	随時	25人 (400人)	公民館事業とタイアップすることで地域情報を知ることができた。	
4	青木地区コミュニティ推進協議会	各種事業に対する事務等の支援、協力	随時	—	宝くじ助成事業協力（やぐら・音響）、事業の情報共有により地域情報を知ることができた。	
5	高林地区福寿会連合会	各種事業に対する事務等の支援、協力	随時	46人 (428人)	公民館事業とのタイアップで多くの方に講座や事業に参加していただけた。	
6	高林地区子ども会育成会連絡協議会	各種事業に対する事務等の支援、協力	随時	65人 (120人)	育成会事業を開催するとともに公民館主催の少年教室と共に実施した。	
7	高林地区ソフトボール愛好会	高林公民館と共に、高林中学校を会場に分館対抗ソフトボール大会の練習	5～7月 (全6回)	100人	4年ぶりのスポーツ事業の再開にあたり、スポーツを通じ親睦を深め地域の人同士のコミュニケーションを図ることができた。	

8	普通救命講習会及び消防訓練	高林地区女性防火クラブ主催の普通救命講習会開催時に公民館職員及び施設管理人も参加。講習会終了後に消防訓練を行った。	1月24日	25人 (25人)	地域の参加者とともに講習会を受講できた。また公民館の消防訓練では、消火器の使用方法を学び地域ぐるみで災害時に備えた情報共有が図れた。	
---	---------------	---	-------	--------------	--	--

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	高林小学校 家庭教育学級 (高林小の児童 及びその保護 者)	①開講式（対象：1年児童と保護者） ②夏休み親子ものづくり（動物小物入れ） ③陶芸（対象：6年児童） ④親子ディスコン交流会（対象：5年児童と保護者）	4月19日 8月5日 9月22日 1月26日 (全4回)	155人	スキンシップにより子育ての気づきの学習と保護者同士の交流が図れた。	
2	青木小学校 家庭教育学級 (青木小の児童 及びその保護 者)	①開講式（対象：1年児童と保護者） ②夏休み親子ものづくり（シードーム） ③健康講座（保護者） ④親子で革細工づくり（対象：6年児童と保護者）	4月19日 7月29日 10月17日 12月7日 (全4回)	101人	スキンシップにより子育ての気づきの学習と保護者同士の交流が図れた。	
3	高林中学校 家庭教育学級 (高林中の保護 者)	ものづくり教室（インテリアライト）	7月29日	12人	子育ての気づきの学習と保護者同士の交流を図る。	
4	3校合同講演会 (子育て講演会)	テーマ「メディア依存の弊害とその予防策・対応策」リモート講演会	10月3日	15人	高林中学校区の保護者対象に、子育てに関する悩みや解決策を共有し、気付きと活力を共有できた。	
5	夏の思い出 サマー キャンプ (高林小・青木 小6年児童とその 保護者)	高林小と青木小の6年児童と保護者対象に、ものづくりとカレーブル、星空観察会を通じて、交流と楽しい夏の思い出づくりにより親子の絆を深める。	8月20日	高林小児童28人、青木小児童17人、保護者20人（65人）	児童と保護者の活動により、楽しい思い出を作り交流することができた。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	高林公民館まつり (倍センまつり)	公民館利用サークルの発表。作品展示やステージイベントを実施。 テーマ「みんなで取り組む気候変動対策」によりカーボンニュートラルの取組PRを実施。環境クイズラリーや環境ブースの設置によりエンジョイecoなすしおばらとも連携。 高林中学校生徒によるステージイベントや地元蕎麦団体の蕎麦出店や地域の駄菓子屋の出店を行った。「EVステーション付ソーラーカーポート」の寄贈式も実施した。	11月19日 展示期間は、 11月26日まで	600人（700人）	まつり開催に合わせ、関係機関と連携することで、来場者が大幅に増えた。まつりのアンケートは、まつりの内容についても高評価であった。1週間の展示により当日まつりに出席できない方にも来場いただけることで、公民館を知っていただける機会となった。	
2	児童生徒書初展	書初展（対象：青木小・高林小児童と高林中学校生徒）	1月20日～31日	183作品展示 来場者100人	地域住民の文化への理解と交流を深めることができた。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する・網戸の設置	通年	—	網戸の設置により快適に過ごせるようになった。またEVステーション付きソーラーカーポートの設置により環境に配慮した取組の意識が高まった。	
2	スマート公民館に向けた取組	公民館利用の利便性向上のため、オンライン予約システムを導入する。	1月～	—	公民館のオンライン予約システムを利用することで、利用者がいつでも予約することができた。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館だよりの発行（倍センだより）	公民館が実施する事業の募集や報告について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行する。	月1回発行	各戸配付（自治公民館長経由）1,160世帯	公民館事業や講座の実施や結果など地域に向けた情報の発信がタイムリーにできた。	

2	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK（見る・来る）（インターネット利用者）	「ギリシャ神話」にまつわるYouTube動画を4シリーズ19作品配信と配信動画の活用。	通年	5,250回 (25,445回)	これまで配信しているYouTube動画を講座への導入で活用。動画の活用で高林地域自然の素晴らしさを深めることで配信回数増となつた。	
3	高林公民館事業実施動画館内配信（公民館利用者）	高林公民館まつり（倍せんまつり）及び高齢者学級の音楽会の開催のダイジェスト動画を作成し、毎日放映。来館者に、公民館事業を知っていただく機会づくり。	通年	—	配信中の高林公民館YouTube動画を講座の導入で活用するとともに、公民館まつりや講座の様子を動画配信することで、高林公民館の魅力を伝えることができた。	

令和5（2023）年度 西那須野公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	成人大学ものづくりゼミナール 「八木澤 正竹工芸ゼミナール」	市内の特に団塊の世代を中心とした一般成人を対象に、著名で専門性の高い講師を招き、質の高い内容を提供することにより学習意欲を刺激し、参加者が今後の人生においても、潤いと充実感の持った生活を送るための一助とする。	7月～10月 (全8回)	13人 (96人)	講師が受講生のペースに合わせて進め、前向きな取り組み姿勢もあり、課題の2作品を仕上げられた。活気ある充実した講座となり大変好評であった。	
2	秋の夜長を楽しむ会	勤労者も対象に夜間の開催とし、様々な学びを通して日々の疲れを癒し、生涯学習の楽しさを知るとともに、毎日を元気に過ごす一助を目指す。	10月～11月 (全5回)	18人 (79人)	夜間実施のため働いている方も参加でき、また休日前の実施のため心に余裕のある曜日に開催したこと、受講生もより楽しめて良かった。	市民大学連携講座
3	高齢者セミナー 「ときわ学級」	高齢者の社会参加を積極的に推進し、生きがいのある人生を送るため、体験活動や健康に関しての学習に意欲的に取り組んで行く。	6月～12月 (全10回)	22人 (189人)	高齢者の要望に沿ったプログラムを編成したところ、大変好評で高い出席率に繋がった。スマート教室も体験することができた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	クラフトバンド教室	クラフトバンドを使って、バック等の製作を学び、講座終了後は自主グループ活動を目指す。	6月～7月 (全4回)	14人 (52人)	製作する楽しさを知り講座終了後は自主グループへ移行できた。	
2	健康教室「ハイキング」	自然や動植物に触れ、身心の健康づくりや、親睦・交流を図る。	7月13日	19人	初夏の下郷町観音沼の自然と大内宿の歴史にも触れ、天候に恵まれ好評な散策であった。	

3	西那須野地区コミュニティ親善グラウンドゴルフ大会	中央地区コミュニティ協力で地域住民がスポーツを通して健康づくりと親睦交流を図る。	6月18日	中央地区 17人	夏を思わせる暑いコンディションであったが、少數精鋭で準優勝の大健闘であった。	
4	中央地区グラウンドゴルフ大会	中央地区コミュニティ高齢者部会・体育部会協力で地域住民がスポーツを通して健康づくりと親睦交流を図る。	7月8日	24人	梅雨の影響により順延の開催となつたが、悪コンディションの中、具合の悪くなる方もなく、盛会に終了。	
5	中央地区輪投げ大会	中央地区コミュニティ高齢者部会協力で地域の高齢者がスポーツを通して健康づくりと親睦、交流を図る。	12月2日	38人	新型コロナウイルスが徐々に終息に向かう中で、この賑わいが更なる広がりを見せるこことを期待したい。	
6	中央地区親善ボーリング大会	中央地区コミュニティ体育部会協力で地域住民の親睦と健康増進のため、ボーリング大会を実施する。	2月17日	29人	新型コロナの制限も緩み、声援あり、ハイタッチありと、コロナ前の盛り上がりを彷彿とする熱戦が展開された。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	女性教室 「なでしこ学級」	地域社会活動を行う女性の資質向上を目指して、現代的課題に目を向けた学習内容にも積極的に取り組んでいく。	6月～1月 (全7回)	24人 (121人)	女性の地域活動の向上に繋げる教室として大変有意義な学びの場となり、好評であった。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	青少年ふれあい教室「わんぱく大学」	次世代を担う子どもと若者を対象に、交流体験活動を通して、人間関係の構築を図りながら、地域を元気にする人づくりを目指す。	6月～2月 (全10回)	23人 (195人) 大学生延べ 39人	小学生と大学生との異世代交流の体験活動を通して、相互の人間力を育み、地域活動の活性化が図れた。	
2	地域ふれあい教室「やんちゃくらぶ」	講師に地域ボランティアや中学生の協力を得て、東小1年生から6年生を対象に、夏期休業期間中に課題対策や体験活動を通して、夏休みの思い出作りを目的とする。（地域学校協働本部事業）	7月26日 8月2・10日 (全3回)	80人 (80人) 中学生ボラ 21人・地域ボラ 9人	夏休みに、西中生及び地域ボランティアとクワガタ教室、粘土細工等の様々な交流学習を体験することができた。	

3	郷土芸能伝承事業 (東小児童)	「太夫塚八木節笠踊り」の伝承を目的に、保存会の指導のもと郷土芸能への理解を深め、イベント等で学習成果を発表する。	7月～11月 (全17回)	15人 (247人)	地元育成会と保存会の会員の協力、指導により郷土芸能の伝承が引き継がれている。	
4	街の音楽会	様々なジャンルの音楽を生演奏してもらい、皆で鑑賞する。地元西那須野中学校合唱部及び市内プラスバンドの出演など中央地区コミュニティ文化部会の協力により実施する。(地域学校協働本部事業)	12月10日	120人 (出演者及び来場者)	生の歌、生の演奏に触れて、参加者が素敵なひと時を過ごすことができた。また、世代を越えた地域住民の交流も図れた。	
5	むかしの遊びに挑戦しよう (東小児童・地区内高齢者)	生活科の授業に地域の高齢者から伝承遊びを学び、遊びを通して異世代間の交流を図り、中央地区コミュニティ協力で実施する。(地域学校協働本部事業)	11月22日	1年生75人 地域協力25人	多くの地域の方に参加いただき、様々な昔の遊びを体験することができた。	
6	西那須野中学校 「防災学習」 (西那須野中生徒・地区内住民)	西那須野中学校生徒が災害時自ら考え主体的に行動できるようにするための講話や訓練体験を学習する事業を、中央地区コミュニティなどの地域住民が積極的に支援し、ともに学習しながら世代を越えた地域の輪を広げていくことを目指す。(地域学校協働本部事業)	11月8日	参加生徒740人 地域協力7人	3年生は避難所運営ゲーム体験、2年生は災害時用簡易トイレ、土壌、皿、靴等の製作、1年生は煙体験、非常食の試食、防災グッズ確認を地域の方と取組めた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	東小学校 家庭教育学級	各種の学習会を通じ、仲間づくりを目指す。子育てについての問題に気づき、情報交換をしながら成長していくことで、親としての資質を向上させる。(家庭教育支援事業)	9月2日	26人	つくばエキスポセンターへの親子移動教室で、科学の実験コーナーやプラネタリウムの見学を通して、親子での学びと交流が図られた。	
2	西那須野中学校 家庭教育支援事業	保護者を対象に実施し、思春期の子どもの育て方を学び、また保護者同志子育ての話を共有する機会を持つ。(家庭教育支援事業)	6月29日 10月20日 (全2回)	24人 (24人)	資生堂工場等の見学、アロマワックスバー作りを通して、子育てに関する情報共有を図ることができた。	

3	わくわく子育てネット	乳幼児を持つ保護者を対象に様々な活動や体験を通して、さらに地域社会との関わりを持ちながら子育てについて学び、保護者間のネットワークを図る。（家庭教育支援事業）	4月～3月（全19回）	大人303人 子供330人	子育てに関する情報共有を図りながら、同じ悩みや不安を持つ仲間を得る機会となっている。リトミック学習と夏祭りが特に好評。	
4	水引きで作るお正月飾り教室	東小学校児童・保護者対象に、今回は、水引きを使ってお正月飾りの製作を学ぶ。水引のこと、お正月飾りの意味も学習する。中央地区コミュニティ青少年部会の協力で親子での協同作業に取り組む。（家庭教育支援事業）	12月16日	50人	参加者は、飾り付けの花や水引の色を親子で相談しながら、それぞれにアレンジをし、工夫の詰まった成果品を仕上げていた。	
5	夏休み親子木工作教室	東小学校児童・保護者対象に、夏休みに木工作を親子で学ぶ機会を提供する学習会。中央地区コミュニティ青少年部会の協力で親子での協同作業となる木工作教室を実施する。（家庭教育支援事業）	7月29日	40人 中学生ボラ6人	西中ボランティアが、木工補助に活躍をし、そのサポートにより参加全組が無事完成。製作に工夫した点を講師に話す場面が印象的であった。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	西那須野公民館、中央地区コミュニティまつり	公民館事業や公民館を利用するサークルの学習成果の発表と、中央地区コミュニティが出店する模擬店などを通し、地域住民の交流の場を設け、地域連帯感を醸成する。	11月5日	来場者 1,150人	ウイズコロナのコミュニティ各部会模擬店出店及び利用団体等の学習発表会等であったが、次回に向けた取り組み方法等の検討がし易くなった。	
2	中央地区芸能大会	中央地区コミュニティ高齢者部会協力で歌、踊りなどの芸能発表を通して親睦と交流を図る。	—	—	新型コロナウィルス等の影響により中止	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年	-	今年度は、経年劣化による和室の畳表替え、グランド水飲み場漏水による取替、そして来年度はトイレの洋式化、照明のLED化等を進める。	
2	スマート公民館に向けた取組	公民館の利便性向上に必要なシステム及び、地域住民の居場所づくりのために必要な設備の導入	1月～	-	オンライン予約の導入は、大きな混乱もなく利用者に浸透している。シェアスペースについては、地域・利用者に広く活用されている。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館だよりの発行 「公民館ロビー」	公民館が実施する事業の募集や報告について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行する。	随時発行	4月～3月 (全5回)	概ね地区内住民に公民館・コミュニティ情報を周知、そしてPRすることができた。	

令和5(2023)年度 狩野公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	学校外活動事業 少年教室 「ひばりのこ」 (梶沢小児童)	ものづくりをはじめ、学校とは違う各種体験活動をおして仲間づくりや生きる力を育む。	6月～2月 (9回)	19人 (児童92人、保護者44人)	異世代交流を兼ねた防災教室を実施し、地域の方々と交流を図ることができた。科学実験や調理実習、スノーシューなど幅広い体験活動を行った。学年を越えた仲間づくりができた。	
2	シニア俱楽部 「しののめ」 (地区内高齢者)	講話、創作活動、レクリエーション活動等をおして、高齢者の生きがいづくり、仲間づくりを図る。	5月～1月 (9回)	20人 (116人)	コロナ禍後、久しぶりに歌の音楽会を実施することができた。異世代交流を兼ねて防災教室を実施したことは、とても有意義であった。そのほか、ものづくり、スポーツ、移動教室など様々な内容で年間プログラム作成し、飽きのこない講座となりとても好評だった。	
3	夏休み宿題お手伝い講座 「ものづくり」 (梶沢小児童)	夏休みの課題を作製するものづくり講座として開催。学習の場の提供と長期休業期間の子どもの居場所づくりとして実施する。	7月27日	児童7人、保護者4人	低学年の児童が多く、全員が親子での参加となつた。様々な形の木片を選んで、オリジナルの木製ボードゲームを作製した。	
4	夏休み宿題お手伝い講座 「習字」 (梶沢小児童)	夏休みの課題を作製する習字教室として開催。学習の場の提供と長期休業期間の子どもの居場所づくりとして実施	8月23日	5人	参加者は少ないものの、雰囲気は落ち着いており、リラックスして下野教育書道展の課題に取り組んでいた。講師が一人一人を丁寧に指導していた。	
5	冬休み宿題お手伝い講座 「習字」 (梶沢小児童)	冬休みの書初め教室として開催。学習の場の提供と長期休業期間の子どもの居場所づくりとして実施	12月27日	6人	下野教育書道展の課題に取り組んだ。子どもたちは一筆一筆丁寧に筆を運び、熱心に課題に取り組んでいた。	

6	はじめての家庭菜園教室 (地区内住民)	コミュニティが運営する「ふれあい農園」で野菜の栽培方法を学ぶことにより作物栽培の楽しみを知り、地域住民の交流を図るとともに郷土愛を育む。	6月～9月 (8回)	8人 (47人)	参加者は野菜づくりを楽しみ、収穫を喜んでいた。コミュニティで運営している「ふれあい農園」を知らることができた。	
7	はじめての沖縄三線教室 (市民)	沖縄の伝統的な楽器である三線の弾き方を学習し、音楽を楽しみながら参加者同士の交流を図る。	6月～7月 (5回)	10人 (43人)	缶で作るカンカラ三線の組み立てを行い、三線の仕組みや弦の張り方を学ぶことができた。沖縄の言葉や琉球音階について講義があり知識を深めることができた。最終日にはグループに分かれて演奏を披露し、受講者は緊張しながらも演奏を楽しんでいた。	市民大学連携講座
8	お正月の寄せ植えづくり (地区内住民)	季節の草花で寄せ植えを作り、お正月を迎える準備をする。	12月24日	13人	寄せ植えのコツや育て方を学び、自分のペースで寄せ植えを楽しんだ。葉牡丹など季節の草花を使い、お正月らしい寄せ植えができた。	
9	【新規】一閑張り教室 (地区内住民)	農民が冬の農閑期に作っていた一閑張りの方法でカゴバックを作り、昔の農民の手仕事を学ぶとともに、物を大切にする心を学ぶ。	2月～3月 (4回)	17人 (66人)	ひたすら和紙を張る地道な作業だが、参加者は熱心に取り組んでいた。特に本張りの古文書や古布を張る作業は、完成を想像しながら配置を考えるのがとても楽しそうだった。	
10	【新規】アロマの楽しみ方 (地区内住民)	アロマの効能や利用法、セルフマッサージなどを学び、疲労回復や健康維持について考える。	2月14日	14人	オイル選びを楽しみながら、自然と参加者同士のコミュニケーションをとることができた。リラックスした雰囲気の中、楽しくセルフマッサージを学んだ。	
11	里の味教室 (地区内住民)	地産地消と旬野菜を生かす食生活を考え、調理実習をとおして人づくりを図る。	2月25日	13人	春のお祝いの食卓を彩る飾り巻き寿司の作り方を学んだ。カットするとかわいい花ができるて、参加者は楽しそうだった。	

12	利用団体の育成支援	情報提供を行い、各団体の活動を支援する。	通年	—	オンライン予約システム開始の案内をはじめ、必要な情報提供を行った。また、公民館まつりの開催により発表の場を提供できた。	
----	-----------	----------------------	----	---	---	--

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	郷土芸能伝承講座「遅沢ばやし教室」 (地区内住民)	遅沢ばやしの練習と各種イベント参加の活動をとおして、郷土愛を育み地域伝承文化の継承に繋げる。	5月～12月 (12回)	11人 (69人)	今年度は那須地区郷土芸能フェスティバルに出演する機会に恵まれた。そのほか、郷土芸能発表会や公民館まつりなどで発表を行うことができた。参加者の減少が課題である。今後も保存会の支援を含め、継続していくたい。	
2	西那須野地区親善グラウンドゴルフ大会 (地区内高齢者)	スポーツを通して、高齢者の健康づくりとコミュニティ相互の交流、親睦を深めることを目的として実施する。	6月18日	18人	今年は狩野地区コミュニティが幹事の開催で、選手と地域住民が前日から会場準備やコース設定を行った。参加者同士の交流と健康増進を図ることができ、日頃の練習の成果も発揮できる機会となつた。	
3	狩野地区大運動会 (地区内住民)	スポーツをとおし地域住民の健康・親睦を深め、心豊かな地域づくりを図る。	—	—	荒天により中止	
4	ふれあいハイキング (地区内住民)	身近な自然や動植物にふれ、心身の健康づくりや、地域住民相互の親睦・交流を図る。	10月6日	13人	今市市内及び日光杉並木を杉並木観光ガイドの案内で散策した。身近にある自然を再発見し、心身のリフレッシュと地域住民の親睦を深めることができた。	

5	歴史講座「みんなの学校物語 狩野地区VER.」(地区内住民)	狩野地区に関する歴史を学び、地域の魅力を再発見する。	11月18日	14人	近代教育史の中での、狩野地区の学校の変遷について学んだ。参加者は当時の資料を見て子どもの頃の記憶が蘇り、熱心に講師の話を聞いていた。	
6	郷土芸能の育成支援 (地区内郷土芸能団体)	郷土芸能伝承のため、各団体の活動を支援する。「遅沢ばやし保存会」「つきの木もちつき唄保存会」の2団体に対し、情報提供等行つた。		通年	盆踊り、公民館まつり等のイベントを通して、発表の場を提供することができた。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	初心者のためのスマートフォン講座 (地区内住民)	スマートフォン初心者を対象にLINEの使い方、写真撮影、地図・位置情報活用などの学習の機会を提供する。	9月7日 9月14日 9月21日 (3回)	8人 (22人)	LINEの使い方や写真・動画の撮影テクニック、位置情報の活用方法などスマホの楽しい使い方を学んだ。LINEを知ることでSNSを利用するきっかけとなった。	
2	那須塩原市生涯学習チャンネルMILK（見る・来る）	エール那須塩原家学（うちがく）プロジェクトの一環として、公民館地域・事業等の紹介をインターネット（YouTube）で配信		通年	田園空間博物館サテライトとなっている高柳温泉神社の「なんじやもんじやの木」の花が咲き誇る様子を、地域紹介としてYouTubeで配信した。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	はじめての沖縄三線教室 (市民)	沖縄の伝統的な楽器である三線の弾き方を学習し、音楽を楽しみながら参加者同士の交流を図る。				施策1-7再掲

2	図書ボランティアによる読み聞かせ(梶沢小児童)	図書ボランティアを活用し、図書室の整理や読み聞かせを通して、本に親しむ子供の育成を図る。 (地域学校協働本部事業)	5~2月 (10回)	296人	図書ボランティア(7名)による読み聞かせを年間10回、朝の活動時に行つた。定期的に児童の読み聞かせを行うことにより、児童は、読書に関する関心をもち、豊かな心を育むことができた。	
3	花いっぱい運動(三島中学校区・地区内住民)	公民館敷地内にプランターを設置し、春と秋の2回に分けて花を植え替え、地域環境の美化と子どもの情操を育む。(地域学校協働本部事業)	6月6日 11月14日	670人 (三島中学校区)	中学生が出身小学校に出向いて、小学生と一緒に花の苗を植え、地域の緑化活動に貢献した。	
4	さわやかサミット(三島中学校区・地区内住民)	三島中学校区をより住みやすい地域にするための課題や改善点を、小学校の児童と中学校の生徒、地域の方々が話し合い、主体的に改善しようとする態度を養うことを目的として実施 (地域学校協働本部事業)	7月3日 1月31日	75人 (三島中学校区)	3会場をZOOMでつなぎ、小中学生・地域の方々が意見交換を行つた。SDGsの取り組みの中でどのような活動ができるかを、幅広い年齢層の方といっしょに考えた。	
5	地域講話	地域の伝統行事について地域の方の話を聞くことにより、郷土を愛する心を養う。 (地域学校協働本部事業)	11月22日	304人	梶子フェスタの開会行事において、地域の方を講師にお招きし、地域の歴史や産業・文化についての話をしていただいた。地域への理解を深め、郷土愛を育むことができた	
6	地域学校保健委員会(三島中学校区・地区内住民)	地域の方々と連携を図りながら学校保健活動を推進し、児童生徒の健康の保持増進を図る。(地域学校協働本部事業)	12月21日	42人 (三島中学校区)	活発な意見交換ができ、それぞれの立場での意見を理解する機会になった。	
7	高齢者との交流事業(梶沢小児童)	地元の高齢者と昔の遊びを通して、郷土愛を育む。 (地域学校協働本部事業)	1月16日	61人	高齢者の経験の豊富さ、知識の深さに触れることができた。世代の違う人たちと触れ合うことができ、子どもたちにとって貴重な体験をすることができた。	

8	郷土芸能保存団体との交流事業 (梶沢小児童)	つきの木もちつき唄保存会との交流活動をとおして地域郷土芸能に対する関心を高め、郷土愛を育む。 (地域学校協働本部事業)	1月17日	56人	もちつきの歴史を学び、実際にもちつきを体験することで、自分たちの住む地域の郷土芸能を知り、理解を深めることができた。	
9	西那須野地区親善グラウンドゴルフ大会 (地区内高齢者)	スポーツを通して、高齢者の健康づくりとコミュニティ相互の交流、親睦を深めることを目的として実施する。				施策2-2再掲
10	狩野地区盆踊り大会 (地区内住民)	地域伝統文化の盆踊り大会を開催して地域住民の親睦・連帯感を深める。	8月16日	700人	4年ぶりの開催となった。盆踊りに先行して子どもお楽しみ会が開催され、多くの親子連れが来場した。今年は新たな試みとして、中小学生によるよさこい、遅沢ばやし等の余興が披露され、会場の熱気が高まってから盆踊りが始まった。久しぶりの夏の風物詩楽しむことができた。	
11	狩野地区大運動会 (地区内住民)	スポーツをとおし地域住民の健康・親睦を深め、心豊かな地域づくりを図る。			荒天により中止	施策2-3再掲
12	公民館・狩野地区コミュニティまつり (地区内住民)	公民館講座、教室、利用団体の作品展示、学習成果の発表とコミュニティの催し物を開催し、地域住民の交流を図る。	10月29日	900人	公民館利用団体や地元コミュニティの催しや作品展示など多彩な内容で盛り上がり、親睦を図ることができた。恒例のバザー、コミュニティによる模擬店やキッチンカーでの食品販売など、コロナ禍前に近い内容で開催することができた。	
13	狩野地区コミュニティどんど焼き (地区内住民)	狩野地区の伝統行事を開催して、後世に伝え、心豊かな地域づくりを図る。	1月13日	500人	コロナ禍前に恒例となっていたガラまきが復活した。キッチンカーの出展があり、会場内での飲食も制限をなくしたため、多くの地域住民が来場した。	
14	地域学校協働本部 (三島中学校区)	情報交換会等を行い、学校と地域の連携、事業展開を推進する。	通年	-	情報交換会等を通じて、地域と学校との間で情報共有と相互理解に努めた。	

15	コミュニティ活動の育成支援 (地区内住民)	狩野地区コミュニティ推進協議会と連携して自主活動を支援し育成を図る。	通年	—	おおむねコロナ禍前と同様の状態で事業が実施できた。今後、時代の変化に合わせ活動を活性化させるにはどのような方法があるか新しい工夫が求められる。	
16	自治公民館活動の支援 (地区内住民)	備品の貸し出しや情報提供を行い、地区活動を支援する。	通年	—	新型コロナの影響で開催を見合っていた多くの自治会行事が再開し、備品の貸出や会議のための貸館等、自治会の自主活動を支援できた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	梶沢小学校家庭 教育学級 「つきのき」 (梶沢小児童・保 護者)	保護者としての学びの場を 提供し、保護者同士の交 流を図りながら、家庭での保 護者のあり方、子育て等を 学ぶ。(家庭教育支援事 業)	7月～1月 (8回)	178人	保護者同士の交流を 通じて、子育てに関する 情報交換の場を提 供することができた。親 子活動ではお金の話や 食育を取り入れ、家庭 教育の充実を図った。	
2	夏休み親子工場 見学会 (梶沢小児童・保 護者)	夏休みを利用して工場を見 学し、製品ができる工程や、 そこで働く人たちの様子を親 子で見学する。学びを共有 することで親子の会話を増 やし、また、将来の職業選 択を考える機会とする。 (家庭教育支援事業)	8月4日	22人	県内の折り紙工場を見 学した。自分の身近に ある製品が、国内外の 原材料を素に、様々な 工程を経て作られて いるのを知ることができ た。県内の産業を知る 機会となった。	
3	かみしばいのよみき かせ (地区内未就学 児親子)	地域のボランティア団体を活 用し、かみしばいのよみきか せ会を開催し、親子のふれ あいと交流を図る。	6月22日	8人 [親子4組]	大型かみしばいの鑑賞 と親子遊びを楽しんだ。 講師による子育て相談 もあり、育児に忙しい中 で息抜きのひと時となっ た。	
4	おやこふれあい体 操 (地区内未就学 児親子)	体幹をつくる体操により、未 就学児の心身の発達を促 し、親子のふれあいと交流を 図る。	6月29日	8人 [親子4組]	広い多目的ホールを いっぱいに使って体操と 親子のふれあいを楽し んだ。	

5	三島中学校区子育て講演会	三島中学校区（三島小、西小、楓沢小、三島中）の保護者を対象とし、子育てに関する講演会や、ワークショップ、コンサートを実施する。 会場：GUNEI三島ホール	11月25日 (全1回)	72人	10年以上続く合同講演会だが、年々参加者が減少している。今年度は案内も工夫したが、参加者の増加には至らなかった。参加した保護者からのアンケートから、講演会を希望する回答は少なく、今後は親子参加型のワークショップやコンサート、観劇等への思い切った内容変更も考えていきたい。	三島公民館、西公民館、狩野公民館との合同事業
---	--------------	--	-----------------	-----	---	------------------------

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館・狩野地区コミュニティまつり(地区内住民)	公民館講座、教室、利用団体の作品展示、学習成果の発表とコミュニティの催し物を開催し、地域住民の交流を図る。				施策4-12 再掲

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年	-	グラウンド時計ポール塗装修繕、消防設備修繕、調理室水栓修繕、敷地内支障木剪定を行い、安心して学習できる環境を整えた。また、指定緊急避難所の指定を受けたことに伴い敷地入口の門の鍵を撤廃した。	
2	スマート公民館に向けた取組	公民館の利便性向上に必要なシステム及び、地域住民の居場所づくりのために必要な設備の導入	1月～	-	オンライン予約システムの導入により24時間、どこからでも利用予約をすることが可能となり、公民館の利便性が向上した。	

3	公民館・狩野地区コミュニティまつり (地区内住民)	公民館講座、教室、利用団体の作品展示、学習成果の発表とコミュニティの催し物を開催し、地域住民の交流を図る。				施策4-12 再掲
---	------------------------------	---	--	--	--	--------------

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館・コミュニティだより「ひがしのかぜ」の発行	公民館及びコミュニティが実施する事業について、地区内住民に周知するため、広報紙を発行する。	通年	-	月1回発行し、公民館とコミュニティの事業の参加者募集や活動報告を周知することができた。	
2	那須塩原市生涯学習チャンネルMILK（見る・来る）	エール那須塩原家学（うちがく）プロジェクトの一環として、公民館地域・事業等の紹介をインターネット（YouTube）で配信	通年	-	田園空間博物館サテライトとなっている高柳温泉神社の「なんじやもんじやの木」の花が咲き誇る様子を、地域紹介としてYouTubeで配信した。	

令和5（2023）年度 南公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	少年教室 「つばめのこ」 (南小児童)	遊びやもの作りなど、子ども同士の活動を通して、自主性・協調性・創造性を養うことを目的に各種講座を実施。	6月～2月 (全9回)	16人 (115人)	参加可能な範囲でプログラムを立案し実施することで、様々な経験を通して学年を越えた仲間づくりもでき、受講生の成長を図ることができた。	
2	高齢者セミナー 「すずらん学級」 (地区内高齢者)	高齢者の生きがいづくり、健康づくり、交流促進を図ることを目的に、講話や軽運動など各種講座を実施。	6月～2月 (9回)	48人 (252人)	高齢者が参加可能なプログラムを立案し実施することで、高齢者の生きがいづくりや交流を図ることができた。	
3	南地区輪投げ大会 (地区内住民)	輪投げを通して、地区内高齢者の健康増進と参加者相互の交流を目的として実施。	11月19日 (1回)	19人	参加者同士の交流と健康増進を図ることができ、高齢者に対して貴重な運動の機会を提供することができた。	
4	西那須野地区親善グラウンドゴルフ大会 (地区内高齢者)	西那須野地区6コミュニティの合同事業として、高齢者の健康増進と参加者相互の交流を目的に実施。	6月18日 (1回)	29人	参加者は普段の練習の成果を十分発揮することができた。	
5	南小陶芸教室 (南小5年児童)	南公民館の特徴である陶芸窯を活用し、陶器づくりの体験を通してものづくりの楽しさと奥深い陶芸の歴史などを学ぶことを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	7月 (2回)	児童・69人 教員・2人 講師・9人	児童全員が初めての体験であったが、講師の指導をよく聞きながら真剣に取り組み、各自がデザインした個性ある作品を作り上げることができた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	市民大学「陶芸教室」 (市民)	陶芸の初步的技術を学び、教養を深めるとともに、継続した自主活動を促すことを目的に実施。	9月 (4回)	8人 (31人)	技法を教わりながらそれぞれ創作していくので、工夫の結果が花瓶や皿に現れた。また、出来上がった作品を互いに鑑賞しあい、色の出し方や模様のつけ方など意見交換し交流を深めていた。そのため参加者からはとても好評だった。	市民大学連携講座
2	自主グループ育成講座 「切り絵教室」 (市民)	切り絵の初步技術を学び、生涯学習への興味喚起と仲間づくりを支援するとともに、自主グループの結成を目指して公民館の利用拡大と活性化を図ることを目的に実施。	11月～12月 (5回)	12人 (53人)	デザインカッターを使うなど、細かな作業や集中力を要する切り絵だが、各自作成した切り絵は完成度が高く、参加者からは好評だった。開催期間も長かったので参加者同士の交流促進も図ることができた。	
3	自主グループ育成講座 「トールペイント教室」 (市民)	地域住民が親睦を深めながら楽しくものづくりを学び、趣味の世界を広げることで、生涯学習のきっかけづくりや公民館の利用拡大と活性化を図る。	1月 (3回)	8人 (21人)	春らしい花をモチーフにした絵柄をティッシュケースに描き、趣味の体験ができた。参加者の好評を得たが、自主グループの結成には至らなかった。	
4	和菓子作り教室 (地区住民)	和菓子作りを通じて日本の伝統の食文化を学ぶとともに、受講生同士の交流による地域住民の親睦深めることを目的に実施した。	2月10日 (1回)	25人	練り切りなど日本伝統の和菓子の作り方を学んだ。また、お茶会しながら参加者同士の親睦を図ることができた。	
5	味噌づくり教室 (地区住民)	日本が誇る健康食である味噌を手作りすることで奥深い日本食の伝統などを学びながら、世代を越えた地域住民の交流と親睦を図ることを目的に実施。	1月14日 (1回)	41人	味噌の手作りを通して日本の伝統食品の奥深さを学ぶことができた。	

6	ハイキング (地区住民)	ハイキングを通して身近な自然に触れることで心身の健康増進を図るとともに、世代を越えた参加者相互の交流と親睦を深めることを目的に実施。	6月11日 (1回)	-	天候不順のため中止	
---	-----------------	--	---------------	---	-----------	--

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	少年教室 「つばめのこ」 (南小児童)	遊びやもの作りなど、子ども同士の活動を通して、自主性・協調性・創造性を養うことを目的に各種講座を実施。				施策1-1再掲
2	南地区コミュニティ・南公民館まつり (地区内市民・公民館利用者)	公民館主催講座の紹介と自主活動グループの作品展示、活動紹介及び各種イベントを行い、地域住民との交流やコミュニティとの協働を促進することを目的に実施。				施策1-2再掲

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第38回南地区コミュニティ・南公民館まつり (地区内住民・公民館利用者)	自主活動グループの作品展示、活動紹介及び各種イベントを行い、地域住民との交流やコミュニティとの協働を図るとともに、児童生徒の参加促進をすることで、地域をあげて子どもたちの健全育成の気運を醸成する。	10月1日	600人	4年ぶりの開催となり、自主サークルの作品展示や発表、コミュニティ各部、南小学校PTA、スポーツ少年団や児童クラブ等による模擬店、各種催し物を行ったことにより多数の来場者があり、地域住民との交流や、生涯学習の一層の充実を図ることができた。	
2	南地区花いっぱい運動 (地区内住民)	南公民館の敷地に季節の花を植えることで、地域の美化と地域相互の連携と親睦を深めることを目的に実施。	6月3日 10月28日 (2回)	26人	季節の花を植えることで公民館や地域の景観を向上することができた。また、地域住民が植込み作業に携わることで、地域の交流と活性化を図ることができた。	

3	地域史跡保存活動 (地区内住民)	田園空間博物館サテライトの一つである親王台の管理(清掃活動)を通して、自然に触れ、開拓の歴史を学ぶとともに、貴重な史跡を適正に保存することを目的として実施。	6月25日 (1回)	9人	親王台の下草刈り、枝おろし、ゴミ拾いを実施し、参加者同士の交流を図ることができた。また、身近な開拓の史跡に触れながら、歴史を学ぶことができた。	
4	ウエスカット作業 (地区内住民)	地域内から寄贈された布を、高齢者施設等で活用できる大きさにカットしてウエスを作成する作業を通じて社会貢献を行うとともに、地域住民の協力体制と親睦を深めることを目的に実施。	2月18日 (1回)	18人	作業を通じて、参加者同士の交流と地域福祉の意識高揚を図ることができた。また、作成したウエスは社会福祉協議会を通じて高齢者施設等に寄贈し、地域内福祉活動の充実を図ることができた。	
5	ミニ門松作り教室 (地区内住民)	正月飾りの一つである「門松」のミニチュア版の作成を通して日本の伝統文化を学ぶとともに、地域住民の親睦と交流を深めることを目的として実施。	12月17日 (1回)	12人	ミニチュア門松を手作りし、日本の伝統と材料の意味などを学ぶことができた。また、参加者同士が協力し合う過程で、交流を深めることができた。	
6	小さな旅 (地区内住民)	自然、文化に触れ見聞を広めながら、地域住民の親睦と交流を深めることを目的として実施した。	12月5日 (1回)	28人	県内の入所を訪ね、新たな魅力に触れるとともに、工場見学により食品の製造過程を学びながら参加者同士の交流を深めることができた。	
7	陶芸教室（南小5年児童） (再掲)	南公民館の特徴である陶芸窯を活用し、陶器づくりの体験を通してものづくりの楽しさと奥深い陶芸の歴史などを学ぶことを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)				施策1-5再掲
8	特別支援学級自立活動 「冬を楽しもう」 (南小児童)	地域住民の指導によるクリスマスの飾り作りを通して、季節を感じ、身のまわりにある物を活用して作る楽しさを味わうことで児童の自立を促すとともに、地域住民との交流を図ることを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	11月13日 (1回)	児童・19人 講師・1人	クリスマスの飾り作りを、いろいろな材料を使用した飾り作りを通して、児童の自立を促すことができた。また、地域住民の指導のもと道具の使い方などを習得し、楽しく作品づくりをすることができた。	

9	「卒業式に向けて～コサージュを作ろう」 (南小6年児童)	地域住民の指導のもと、コサージュの手作りを行いながら卒業に向けての児童の意欲と希望の気持ちを喚起することを目的に実施。(地域学校協働本部事業)	12月12日 (1回)	児童・51人 保護者・51人 講師・3人	卒業式で自分の胸に着けるコサージュを手作りすることで、卒業に向かた児童の意識高揚を図ることができた。また、製作活動を通してこれまで自分を支えてくれた地域住民や保護者への感謝の気持ちを喚起し、将来への希望を深めることができた。	
10	「木製ポストカード作り」 (南小4年児童)	地域住民の指導によるポストカード製作を通して、木の実など身近なものを利用したものつくりの楽しみを学び、自然への関心を促すとともに、地域住民との交流を図ることを目的に実施。(地域学校協働本部事業)	1月24日 (1回)	児童・48人 講師・2人	2分の1成人式で保護者に感謝の気持ちを伝えるポストカードを作成し家族への思いを深めることができた。また、地域住民の指導・交流を深めつつ楽しく活動することができた。	
11	「絵手紙教室」 (南小3年児童)	地域住民の指導による絵手紙体験活動を通して、手紙文化への関心を深め、児童の自立を促すとともに、地域住民との交流を図ることを目的に実施。(地域学校協働本部事業)	1月26日 (1回)	児童・52人 講師・2人	絵手紙の作成を通して気持ちを手紙で伝えることの必要性を学ぶとともに、手紙文化への関心を高めることができた。また、地域住民の指導のもと、手紙により感謝の気持ちを表すこと学び、児童の知見を広げることができた。	
12	ジュニアリーダー講習会 (南小5年児童)	南小5年児童を対象に、講話やレクリエーションを通じて小学校最上級生となる自覚を促し、下級生のリーダーとして活躍できる人材を育成することを目的に実施。(地域学校協働本部事業)	2月3日 (1回)	児童・9人 講師・4人	なす高原自然の家職員の指導の下、スノーシューを体験した。家にこもりがちな冬のスポーツを楽しみながら、互いに交流を深めることができた。	

13	宿題お助け隊 (南小児童・西那須野中生徒・ 地区内住民)	南小児童を対象に、地域住民と西那須野中学校生徒が協力して宿題の支援を通して、児童生徒の地域活動への参加促進と住民間の連携、交流を深めることを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	1月5日 (1回)	児童・生徒 23人 講師・1人	小学生冬休みの宿題(書道、ドリルなど)の仕上げの支援を地域住民と中学生が協力して行うことで、中学生のボランティア意識の醸成、小学生の目標設定に寄与することができ、地域内住民同士の交流を深めることで、児童生徒の健全育成の機運を高めることができた。	
14	コミュニティ活動の育成支援 (南地区コミュニティ推進協議会)	南地区コミュニティ推進協議会の活動を支援し、育成を図ることで、住みよい地域づくりに寄与することを目的に実施。	通年	—	地域活動のあり方を共に考えながら、地域の活力の低下を防ぐため連携した取組を推進することができた。	
15	自主グループの育成支援 (南公民館定例利用団体)	公民館定例利用団体への情報提供等により活動を支援したほか、公民館まつりに学習成果の発表の場を提供することで、各団体の活動の充実を図ることを目的に実施。	通年	—	定例利用団体へ情報提供などの支援により、可能な範囲で活動とができた。一方で、各種講座が十分に開催できず、新たな自主グループの設立支援ができなかつた。	
16	自治公民館活動の支援 (地区内自治公民館)	自治公民館活動の活性化のために、相互の情報交換を行うことで、地区活動を支援することを目的に実施。	通年	—	コロナの感染症法の位置づけが5類に引き下げられたことに伴い、休止していた自治公民館活動が再開し、情報交換を行うことができた	
17	地域学校協働本部事業 (地区内住民・ 南小児童・西那須野中生徒)	通年	通年	—	南小学校児童の登下校時の見守り活動を中心としたスクールボランティア活動を通して、学校と地域との協働体制を確保することができた。また、南小学校児童を対象とした冬休み「宿題お助け隊」事業を行い、地域住民や中学生との連携・交流を深めることができた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	南小家庭教育学級 (南小保護者・児童)	教育講演会、親子体験活動、ワークショップ、移動教室等を通して、保護者同士の交流を図りながら学習機会を設けることで、学習家庭教育力の向上による児童の健全育成を図る。(家庭教育支援事業)	4月～2月 (全7回)	(124人)	プログラムの検討に当たっては学級役員を交えて協議し、自主性を促すとともに可能な範囲の事業を行った。本年度は数回公民館事業との共催で行い親子での作業に取り組むとともに受講者同士の交流を図ることができた。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第38回南地区コミュニティ・南公民館まつり (地区内住民 公民館利用者)	自主活動グループの作品展示、活動紹介及び各種イベントを行い、地域住民との交流やコミュニティとの協働を図るとともに、児童生徒の参加促進をすることで、地域をあげて子どもたちの健全育成の気運を醸成する。				施策4-1再掲

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館整備事業 (公民館利用者)	屋根改修工事改修工事・レジリエンス事業（ソーラーパネル設置・LED照明への交換）など	通年	-	LED照明への交換化工事などを行うことで、公民館利用者の利便性が上がった。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館だよりの発行 (地区内住民)	公民館と南地区コミュニティと共同で広報紙を定期的に発行することにより、公民館及びコミュニティ主催事業等の紹介や、地域住民に対する啓発などを行い、情報共有を図りながら地域の連帯感向上に寄与することを目的に実施。	月1回発行	4月～3月 (12回)	月1回の定期発行により、公民館やコミュニティの各事業の案内、など各種情報をタイムリーに地区住民にお知らせすることができた。	

令和5（2023）年度 西公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	学校外活動事業 少年教室「チャレンジ☆キッズ」 (地区内児童)	モノづくりや体験学習などの様々な活動をとおして、仲間づくりや子どもの好奇心、創造を育成することとする。	5月～1月 (実施8回、中止1回)	30人 (147人)	モノづくりやこの地域ならではのいちご狩り、野鳥観察などができる、子どもたちには地域の新たな発見となり、楽しく活動することができた。	
2	高齢者セミナー 「さわやか学級」 (地区内高齢者)	講話や創作活動、健康運動をとおして、高齢者の生きがいづくり、仲間づくりを図ることを目的とする。	5月～1月 (実施7回、中止1回)	60人 (168人)	手先を使うモノづくりから身体を動かす健康体操、移動教室など楽しく活動しながら参加者同士の交流を図ることができた。	
3	利用団体の育成支援	情報提供を行い、各団体活動を支援する。	通年	—	同じ趣味を持ち活動している団体が年間を通して円滑に活動ができ、会員勧誘のちらしの掲示場所の確保や活動成果の発表の場を提供することで、団体活動の活性化が図られた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	郷土芸能継承講座 「子ども疏水太鼓」 (地区内小学生4～6年生)	西小学校4～6年生を対象に、那須野ヶ原疏水太鼓保存会の指導の下、子ども疏水太鼓の技術の習得と発表など伝承活動を行った。	4月～12月 (45回)	23人 (583人)	練習や公民館まつり等での発表をとおして、郷土芸能への理解が深まり地域活動への参加を図ることができた。	
2	西那須野地区親善グラウンドゴルフ大会 (地区内高齢者)	スポーツを通して、高齢者の健康づくりとコミュニティ相互の交流、親睦を深めることを目的として実施する。	6月18日	16人	参加者同士の交流と健康増進を図ることができ、日頃の練習の成果も発揮できる機会となつた。	

3	ハイキング教室 (地区内住民)	自然に触れながら心身の健康づくりや地域住民相互の親睦や交流を図ることを目的とする。6月は奥日光中禅寺湖千手ヶ浜クリンソウ散策、10月は五色沼自然探勝路散策を実施した。	6月4日 10月1日 (全2回)	21人 23人	6月のは天候にも恵まれクリンソウもちょうど見頃で新緑の日光を散策できた。10月はまだ紅葉には早い時期であったが沼の色の不思議を観察しながら歩くことができ、どちらも自然環境への理解及び健康増進と地域住民の交流を図ることができた。	
4	【新規】 藍染教室	昨年実施した「さくら染め教室」に続き、染物教室第2弾として「藍染教室」を開催する。染色する技術を習得しながら受講生同士の親睦を図ることを目的とする。	7月 5日 7月12日 7月13日 (3回)	9人 (25人)	初めにパックに色を染めた後に、特殊な液体でデザインを型抜きする方法で藍染を体験し、新しい染色の知識を習得し、参加者同士が協力しながら染物体験し交流を図ることができた。	
5	自主グループ育成 講座 「クラフト教室」 (市民)	クラフトテープを利用したバッケを作成しながら、共通の趣味を通じた仲間づくりの推進及び利用団体の育成を図る。	9月26日 10月 3日 10月17日 (3回)	12人 (36人)	創作作業に個人差がありたが、参加者が協力しながら制作でき、新たな仲間づくりができた。	
6	【新規】 ワイン講座 (市民)	地元で活躍するワイン醸造家の山崎賢子氏を招き、生産から醸造まで体験しながらワインについて学ぶ。	9月9日～ 12月2日 (4回)	20人 (71人)	講義や収穫体験をとおして、ワインについてのぶどうの種類、栽培、生産方法など直接ワイン醸造家から学ぶことができ、座学だけでなくぶどうの収穫や試飲など、ほかにはできない貴重な体験ができ、受講者は楽しく学ぶことができた。	市民大学連携講座
7	西地区コミュニティ 親善スポーツ交流会 (地区内住民)	コミュニティの体育レクリエーション部会が中心となって地区対抗輪投げ、グラウンドゴルフを実施する。	9月24日	104人	コロナ禍で中止となり4年ぶりの開催であったが、参加者は大いに盛り上がり久しぶりの交流会を和気あいあい楽しんぐ参加できた。	
8	味噌づくり教室 (地区内住民)	普段口にする味噌を手づくりすることで、食生活への興味、関心を持つことを目的とし実施する。	2月3日	22人	味噌づくりをしながら、発酵食品の知識や味噌の種類や材料、料理について専門家から学ぶことができた。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK（見る・来る）	エール那須塩原家学（うちがく）プロジェクトの一環として、公民館地域・事業等の紹介をインターネット（YouTube）で配信	通年	-	市民大学連携講座「ワイン講座」の動画を配信した。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	【新規】ワイン講座（市民）	地元で活躍するワイン醸造家の山崎賢子氏を招き、生産から醸造まで体験しながらワインについて学ぶ。				施策2-6再掲
2	花いっぱい運動（三島中学校区・地区内住民）	公民館敷地内にプランターを設置し、春と秋の2回に分けて花を植え替え、地域環境の美化と子どもの情操を育む。（地域学校協働本部事業）	6月 6日 11月14日 (2回)	670人 (三島中学校区)	中学生が出身小学校に出向いて、小学生と一緒に花の苗を植え、地域の緑化活動に貢献した。	
3	フラワーロード整備事業（地区内小学生・地区内保育園生・地区内高齢者）	地域の高齢者が西保育園児とともに小学校・西公民館の南面歩道にマリーゴールドを植え付け、地域の環境美化を図った。（地域協働学校本部事業）	6月 6日 11月14日 (2回)	251人	地域の高齢者と、西小児童及び保育園児と一緒にフラワーロードを整備することで世代間の交流を図ることができた。	
4	さわやかサミット（三島中学校区・地区内住民）	三島中学校区をより住みやすい地域にするための課題や改善点を、小学校の児童と中学校の生徒、地域の方々が話し合い、主体的に改善しようとする態度を養うことを目的として実施（地域学校協働本部事業）	7月 3日 1月31日		3会場をZOOMでつなぎ、小中学生・地域の方々が意見交換を行った。SDGsの取り組みの中でどのような活動ができるかを、幅広い年齢層の方といつしょに考えた。	
3	フラワーロード整備事業（地区内小学生・地区内保育園生・地区内高齢者）	地域の高齢者が西保育園児とともに小学校・西公民館の南面歩道にマリーゴールドを植え付け、地域の環境美化を図った。（地域協働学校本部事業）	6月 6日 11月14日 (2回)	251人	地域の高齢者と、西小児童及び保育園児と一緒にフラワーロードを整備することで世代間の交流を図ることができた。	

4	さわやかサミット(三島中学校区・地区内住民)	三島中学校区をより住みやすい地域にするための課題や改善点を、小学校の児童と中学校の生徒、地域の方々が話し合い、主体的に改善しようとする態度を養うこと目的として実施（地域学校協働本部事業）	7月 3日 1月31日		3会場をZOOMでつなぎ、小中学生・地域の方々が意見交換を行った。SDGsの取り組みの中でどのような活動ができるかを、幅広い年齢層の方といっしょに考えた。	
5	子ども夏まつり（地区内住民）	趣旨に賛同する地域の企業からの賛助金で、コミュニティの各部会が中心となって、金魚すくい、bingo大会、輪投げ、スイカ割、段ボール迷路を開催する。	8月6日	600人	コロナ禍で中止となっていたが、地域の企業からの賛助金の協力をいただき4年ぶりに開催することができ、久しぶりの夏まつりを満喫していただいた。	
6	第35回いも煮会・西公民館まつり（ハロウィンバージョン）（市民）	公民館利用団体による作品展示及び公民館事業で作成した作品展示。コミュニティ各部会は、牛乳鍋の提供、他模擬店を開催し地域住民の交流を図る。	10月22日	1100人	4年ぶりの開催であったが、地域住民とそれぞれアイディアを出し合いコロナ禍前のおまつりの良さを残しつつ違うスタイルで開催したが、たくさんの住民の方々が参加し大盛況であった。	
7	星空かんさつ会	コミュニティ青少年部会がいも煮会・西公民館まつりの前夜祭として実施する。	実施なし		コミュニティ内での検討の結果、中止。今後も実施しない予定。	
8	感謝の会（西小児童・地区内住民）	日頃からお世話になっている方（少年指導員、かやの実会、狩込じょっこ会、農園協力者等）に、児童から感謝の気持ちを伝える。（地域学校協働本部事業）	10月2日	301人	日頃からお世話になっている少年指導員等の地域の方々を学校に招待し、児童の手紙とお花を贈呈し感謝の意を伝えることができた。	
9	三島中生徒と高齢者交流事業（三島中生徒・地区内高齢者）	地域の高齢者と三島中学校1年生との交流を図る。（地域学校協働本部事業）	実施無し			
10	地域学校保健委員会(三島中学校区・地区内住民)	地域の方々と連携を図りながら学校保健活動を推進し、児童生徒の健康の保持増進を図る。（地域学校協働本部事業）	12月21日	37人 (三島中学校区)	歯の健康について、それぞれの立場での取組を共有することができ、活発な意見交換ができた。	

11	絵手紙講師による 絵手紙教室 (西小児童)	6年生児童を対象として、卒業を見据え、保護者への感謝の気持ちを形あるものとして残すことで、より一層その思いを深める。 (地域学校協働本部事業)	12月21日 1月16日 (2回)	44人 児童 42人 講師 2人	保護者への感謝を込めた絵手紙を作成することで、改めて保護者への感謝の気持ちや卒業への思いを高めることができた。	
12	西小児童と高齢者 の交流活動 (西小児童・地区内高齢者)	地域の高齢者の方々の協力を得て、西小学校1年生が、けん玉やおはじきなどの昔の遊びを教えてもらしながら交流を深める。 (地域学校協働本部事業)	1月18日	70人 児童 53人 高齢者17人	大人の方から昔からの遊びを教わったり、一緒に遊んだりする中で、昔の遊びの良さや楽しさを知り、地域の方と交流することできた。	
13	コミュニティ活動の 育成支援 (西地区コミュニティ)	西地区コミュニティ運営委員会が行う各会議、事業の準備段階から、日時の調整、関係機関への書類提出補助、通知発送補助、他企画への参画及び情報提供することで支援した。	通年	-	コミュニティが行う各種事業の実施に当たり企画への参画及び情報提供等の支援を通して、地域住民全員が参加出来るような地域づくりの活動育成が図られた。	
14	自治公民館活動 の支援 (地区内自治会)	備品の貸し出しを通して、自治公民館事業が円滑に実施できるよう支援した。	通年	-	自治公民館事業の実施にあたり備品等の貸し出しを行い、自治活動の活性化が図られた。	
15	自主グループへの 支援 (西公民館定例利用団体)	定例的に利用している団体が年間を通して公民館を利用できるよう調整会議の開催や会員募集のちらしを張るスペースの提供を行った。	通年	-	同じ趣味を持ち活動している団体が年間を通して円滑に活動ができ、会員勧誘のちらしの掲示場所や活動成果の発表の場を提供することで、団体活動の活性化が図られた。	
16	地域学校協働本部 (三島中学校区)	定例会議や情報交換会等を行い、学校と地域の連携及び事業の推進を図る。	通年		6月、3月に本部会議を実施。6月の第1回本部会議では「今の三島中学校地区の子どもに足りないもの」をテーマにグループワークを行い、様々な意見を出し合った。3月の第2回本部会議では「コミュニティスクール」の説明、第1回のグループワークの振り返りを行った。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	西小学校家庭教育学級 (西小児童・保護者)	親としての学びの場、友達づくりの場として子育て講演会や講座、親子活動を実施し、子育てへの理解を深め保護者同士の親睦を図る。 (家庭教育支援事業)	5月～12月 (6回)	116人	講演会や講座をとおして保護者同士の交流を図ることができた。親子活動では一つの作品を作ることで一緒に達成感や喜びを感じることができた。	
2	三島中学校区子育て講演会	三島中学校区（三島小、西小、楓沢小、三島中）の保護者を対象とし、子育てに関する講演会や、ワークショップ、コンサートを実施する。 会場：GUNEI三島ホール	11月25日 (全1回)	72人	10年以上続く合同講演会だが、年々参加者が減少している。今年度は案内も工夫したが、参加者の増加には至らなかった。参加した保護者からのアンケートから、講演会を希望する回答は少なく、今後は親子参加型のワークショップやコンサート、観劇等への思い切った内容変更も考えていきたい。	三島公民館、西公民館、狩野公民館との合同事業

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第35回いも煮会・西公民館まつり (ハロウィンバージョン) (市民)	公民館利用団体による作品展示及び公民館事業で作成した作品展示。コミュニティ各部会は、牛乳鍋の提供、他模擬店を開催し地域住民の交流を図る。				施策4-6再掲

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	2月	-	衛生面及び老朽化のためグラウンドトイレ解体工事を実施した。	

2	スマート公民館に向けた取組	公民館の利便性の向上に必要なシステム及び地域住民の居場所づくりのために必要な設備の導入。	1月～	-	オンライン予約システムの導入がされ、24時間予約が可能となった。	
---	---------------	--	-----	---	----------------------------------	--

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館・コミュニティだよりの発行	公民館及びコミュニティが実施する事業について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行する。	月1回発行	4月～3月 (12回)	公民館事業やコミュニティ行事の周知や報告など地域に向けた情報の発信ができた。	
2	なすしおばら生涯学習チャンネル MILK（見る・来る）	エール那須塩原家学（うちがく）プロジェクトの一環として、公民館地域・事業等の紹介をインターネット（YouTube）で配信				施策3-1再掲

令和5（2023）年度 三島公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	少年教室 「こどもクラブ」 (地区内児童)	三島小児童を対象とし、様々な体験学習を通して子どもの豊かな創造力や感受性を育む。1回ごとの募集とし、参加の機会を拡大する。1回の定員は15名以内とし実施。	5月～12月 (全6回)	49人(49人)	習い事やスポーツ少年団への加入等、多様化する子ども達の生活事情を考慮し、通年参加ではなく興味があるプログラムへの選択による実施形態を推進。ものづくり、プログラミングに人気が集中した。今後も可能な限り地域資源（博物館、ボイスカウト野営場）を活用した事業展開を続けていきたい。	
2	郷土芸能伝承講座 「こどもおはやし会」 (地区内児童)	「三島おはやし」を練習し、地域伝統への理解を深めると同時に豊かな人間性を育てる。	5月～12月 (全17回)	27人（381人）	今年度は、練習を途中で休止することなく実施することができた。また地区内外のイベントへの参加が多く、高学年児童の演奏機会を増やすことができた。	
3	三島地区高齢者 学級「昴」 (地区内高齢者)	高齢者の健康や生きがいづくりのため、講話、ニュースポーツなど様々な講座を実施する。	6月～12月 (全7回)	13人（62人）	世代間交流を考え「こどもクラブ」と共催で「モルック」を計画したが、子どもの参加者が親子1組となった。しかし初めて行うゲームに年齢を問わず楽しむことができた。しかし、各回の参加人数にバラつきがあり、参加日に次回講座の案内および出欠も取っていたが、講座日を忘れてしまう参加者も多く、開催前にハガキで案内することにした。	

4	【新規】木組みを学ぼう (地区内住民)	余暇を楽しみ人生を豊かにする趣味の選択肢としてDIY体験を提供する。改めて基礎を学びながら、作品を作り上げる。	1月～3月 (全3回)	7人 (21人)	日本の伝統技術である木組みの学習として開催。プロの指導の下、普段できない体験をした参加者は皆満足していた。コアな客層を対象として考えていたが、伝統技術に興味を持つ女性など、様々な動機による参加が見られ、今後の講座企画の参考となった。	
5	【新規】あつたまろ！温泉ガストロノミー講座 (市民)	塩原、板室と有数の温泉の魅力を知ることで、市民があらためて地元の温泉の良さを知ることで郷土愛を深めていく。座学（歴史と自然）、グルメ、ハイキングなどを実施	9月～11月 (全4回)	19人 (65人)	募集と同時に定員数を上回り、市民のみなさんの地元「塩原温泉」に関する興味や学習意欲の深さを感じた。出席率もよく、座学で実施した歴史や自然を学ぶ講座が特に高評価だった。実際に学んだ内容をハイキングや街歩きで実感できた。	市民大学連携講座
6	三島地区女性学級 「ふわり FUWA R I」 (地区内女性)	毎日ハツラツと健やかに過ごすための生活の知恵と工夫、健康、知識、体験を楽しく学ぶ。 前期：ものづくり（PPバンドバッグ作成） 後期：座学での学習、体験、視察研修	6月～12月 (全8回)	22人 (66人)	今年は前期後期に分けて実施。前期は濡れても使えるPPバンドのバック作成、後期は「昂」（高齢者学級）と共に2回で実施、重複する参加者が何名かいたが、学習内容に深みが持つことができた。また「昂」参加者と交流も図れた。	
7	【新規】消しゴムはんこ講座 (地区内住民)	自分の好きな絵柄や模様でハンコを作成し、グリーティングカードなどを作成、デジタルな現在だからこそ、手作りの良さを知ることが出来る。また、家時間でできるスキルを磨くことで、趣味から仕事へのキャリアアップを図る。	11～12月 (全3回)	13人 (26人)	全3回参加で募集をかけたが、参加者が望めなかつたため、各回ごとの参加へと変更したこと、回数を重ねるうちに参加者が増えていった。初心者も経験者も講師のデザイン図を元に2～3個掘り進めることができた。残念ながら自主グループとはならなかった。	

8	夏の子ども劇場 (市民)	子どもたちに演劇鑑賞の機会を提供し、情操を豊かにし、公民館やホールへの親しみを促す。	7月31日	200人	市広報誌を通じて周知を行い、市内から多くの親子連れに鑑賞していただいた。今後も生の演劇を鑑賞する機会を提供するべきと考える。	
9	「子どもの農業・演劇体験」 (市内児童)	サツマイモの植え付け、管理、収穫と、「食」をテーマとした演劇鑑賞をセットで体験し、食の大切さを学びながら、豊かな心を育む。	5月～11月 (全3回)	25人 (60人)	農業体験と食にちなんだ演劇鑑賞というコラボ企画は子どもたちに新鮮な刺激となつたと評価する。	子ども子育て夢基金事業

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	三島地区グラウンドゴルフ大会 (地区内住民)	グラウンドゴルフを通して、親睦と交流、健康増進を図る。	10月13日	33人	競技を通した地域交流は好評であるが、年々参加者は減少している。	
2	三島公民館グラウンドゴルフ (地区内住民)	地域の高齢者の交流の場としての役割と、各々の健康維持を図る。	通年	30人 (1,850人)	高齢者の体力維持、社会参加を目的として通年開催している。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	国際交流講座 「日本語教室」 (市内在住外国人)	在住外国人を対象とし、日本語の習得と学習者、指導者間の交流を深め、国際交流を図る。	4月～3月 (全24回)	38人 (262人)	初心者～日本語能力試験 (N1～2) を目指す者が参加しており、指導ボランティアがマンツーマンで日本語を教えた。	
2	日本語学習者支援ボランティア講座 (市民)	新年度の日本語教室の充実を図るために、指導ボランティアを要請するための講座を開設する。	3月～4月 (全3回)	31人 (80人)	県国際交流協会から講師を招き、学習者に寄り添った指導方法を身につけるための講習を実施した。	
3	なすしおばら生涯学習チャンネル MILK (見る・来る) (市民)	エール那須塩原家学 (うちがく) プロジェクトの一環として、公民館地域・事業等の紹介をインターネット (YouTube) で配信	通年		新作の動画なし。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	花いっぱい運動 (地区内児童・生徒、地区内住民)	三島中学校区内の小学校と公民館にプランターを設置し、春と秋の2回に分けて地域住民と小中学生が協力して花を植え替え、地域環境の美化と児童の情操を育む。(地域学校協働本部事業)	6月6日 11月14日 (全2回)	430人 (860人)	三小5・6年児童と三中1・2年(三小卒)生徒が三島小学校を会場に実施。コミュニティ役員は植え付けの手伝いを行った。各自治公民館、三島公民館にプランターを設置した。	
2	七夕まつり (地区内児童と保護者)	コミュニティ、子供会育成会との共催で、七夕の飾付と紙芝居会などの伝統行事を行うことにより、児童の豊かな人間性を育む。	7月1日～8日	80人	5年ぶりに実施。近隣の方に竹を譲っていただき実施。参加者はコロナ前より少なかったが、子どもたちと保護者は、コミュニティ委員と一緒に色とりどりの七夕飾りを作成し、三島小学校の玄関に飾ることができた。また、七夕にまつわる紙芝居会も実施することができた。	
3	開墾記念行事 (三島小学校児童)	地域の方を講師に招き、開拓の歴史について学習する。(地域学校協働本部事業)	4月14日	230名	6年生のみが体育館、5年生が各教室でリモート実施した。開拓当時の様子や地域の先人たちの苦労を知ることで、自分たちの住む地域に誇りをもち、地域のためにできることは何かを考える機会になった。	
4	三島小学校感謝の集い (三島小学校児童、地区内住民)	日ごろお世話になっている地域の方々を招き、感謝の手紙の朗読や花束を贈るなどして、感謝の気持ちを伝える。(地域学校協働本部事業)	11月20日	674人	感染症対策のため、多目的室と各教室をリモートで繋いで実施。普段お世話になっている地域の方々に、手紙や花束を贈呈し、感謝の気持ちを表した。地域の方々には、直接児童の気持ちを伝えることにより、学校への関わりを深める一助となった。	

5	お琴教室 (三島小学校児童)	日本の伝統的な楽器を演奏することで、日本の伝統文化に触れ、理解する力を養う。(地域学校協働本部事業)	実施無し			
6	三島かるた (三島小学校児童)	4年生の地域学習の一環として、総合的学習の時間に地域かるたを製作する。 (地域学校協働本部事業)	11月～1月	119人	地域かるたを製作することにより、自分たちが住む地域を知るきっかけ作りになった。	
7	学習ボランティア (三島小学校児童)	公民館を通して学習ボランティアを募集し、5年生の家庭科と手芸クラブで指導補助をする。(地域学校協働本部事業)	通年	138人	ボランティアから手芸などを細やかに教えていたことで、児童たちが安心して製作することができた。	
8	三中フェスティバル (三島中学校生徒)	文化祭に、生徒による合唱・演奏発表、作品展示などを通して、地域の方々との文化交流を図る。 (地域学校協働本部事業)	10月28日	655人	感染症対策のため、地域の方への開放は見合わせ、生徒のみで実施した。	
9	三島中学校総合的学習 高齢者交流会 (三島中学校生徒、地区内高齢者)	地域の高齢者の方々から、生活の知恵や地域の伝統・文化について理解し、豊かな人間性を育む。 (地域学校協働本部事業)	実施無し			
10	三島中学校総合的学習 福祉体験講座 (三島中学校生徒)	障害者に関する講話や実技を学ぶことにより、福祉への理解を深め、地域社会への貢献育成を図る。 (地域学校協働本部事業)	実施無し			
11	さわやかサミット (三島中学校区内児童・生徒、地区内住民)	中学校区内の3小学校に生徒が出向き、各会場をオンラインで結んで実施する。 (地域学校協働本部事業)	7月3日 1月31日	75人 (150人)	SDGsの取組の中から、地域のためにできることについて、活発な意見交換ができた。	
12	地域学校保健委員会 (三島中学校区内児童・生徒、地区内住民)	「歯と口の健康について考えよう」をテーマに会議を実施する。 (地域学校協働本部事業)	12月21日	42人	市健康増進課職員や学校歯科医の専門的な話を聞き、地域全体で健康増進の重要性を確認することができた。	

13	三島地区コミュニティ運営委員会 (地区内住民)	三島地区コミュニティ運営委員会の活動を支援し、育成・連携を図る。 【主な連携・支援事業】イルミネーション、しめ飾り作り、カルタ作り、凧揚げ、グリーンカーテン設置、サテライト清掃、どんど焼き支援、広報紙ホームページ掲載等。	通年	-	公民館・コミュニティまつりを実施し、多数の地域住民が来館して。また、各部会での事業も盛んに行われた。	
14	西那須野地区自治公民館連絡協議会 (西那須野地区自治公民館長)	連携事業の実施協力や情報提供などを行うことにより、自治会の自主活動を支援する。	通年	-	令和4年度版の各自治公民館事業集を発行した。	
15	自主グループ利用団体 (三島公民館定例利用団体)	情報提供を行い、活動を支援する（定例利用47団体）。	通年	-	公民館予約システムが開始された。	
16	地域学校協働本部 (地区内住民)	定例会議や情報交換会等を行い、学校と地域の連携及び事業の推進を図る。	通年	-	6月、3月に本部会議を実施。6月の会議では「今の三島中学校地区の子どもに足りないもの」をテーマにグループワークを行った。3月の会議では「コミュニティスクール」の説明、第1回のグループワークの振り返りを行った。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ひよこの会 (市内の1歳から未就園の乳幼児とその保護者)	市民乳幼児の親を学習対象とし、「子育て」に関する知識を得る学習会や親同志のコミュニケーションをはかる”ものづくり、食育調理講座”を実施。 (家庭教育支援事業)	6月～1月 (全10回)	親子12組 (271人)	内容的に新たな試みや、多岐にわたるように工夫をした。アンケートでは「子育てに役立つ内容であり、友人もできた」という意見があり、子育てに必要な内容で実施できた。各種のボランティアグループに保育を依頼。ママたちには好評だった。	

2	三島小学校 家庭教育学級 (三島小学校児童と保護者)	児童とその保護者が対象。夏休み親子参加での科学教室と親子古代教室では"白河まほろん"で昔の人の暮らしを親子で学んだ。 10月に実施したPTA文化部共催の講演会では「家庭での子どもへの関わり方」を学んだ。 家庭教育支援事業通信「スマイル」(年3回発行)。 (家庭教育支援事業)	7~11月 (全3回)	98人	最近の傾向として家庭教育支援事業の募集に親子で参加を希望する保護者が多いと感じる。親だけで学ぶ講演会などは参加希望者が少なく、学校行事と同日実施することが出来ればと思う。「子育て」を学ぶ機会の提供と保護者のニーズや参加しやすい内容を常に考え反映していきたい。	
3	三島中学校 家庭教育学級 (三島中学校生徒と保護者)	生徒とその保護者を対象とし、思春期の子どもへの家庭での関わり方を学び、また共同作業を行う講座で親子のコミュニケーションをはかり、親同士のネットワーク作りを支援する。PTA研修部の視察研修を実施。あおはる通信2回発行。 (家庭教育支援事業)	6月 (全2回)	18人	仕事をしている保護者が多いため実施に苦戦することが多い。 PTA研修部と共に講座を実施することが大事と思われる。	
4	三島中学校 思春期講演会 (三島中学校生徒の保護者)	思春期の子どもの"ゆれる心"について理解を深め、親としての学びを得る講演会をPTA研修部との共催で開催する。 (家庭教育支援事業)	7月11日	保護者60人 生徒全校人数	子どものインターネット使用について授業のひとつとして実施できた。生徒からの質問も多く、参加の保護者も生徒の様子や考えなど知れる機会となった。	
5	三島中学校区 子育て講演会 (地区内児童・生徒の保護者)	三島中学校区(三島小、西小、楓沢小、三島中)の保護者を対象とし、子育てに関する講演会や、ワークショップ、コンサートを実施する。 会場: GUNEI三島ホール (家庭教育支援事業)	11月25日	72人	10年以上続く合同講演会だが、年々参加者が減少している。今年度は案内も工夫したが、参加者の増加には至らなかった。参加アンケートでは、講演会を希望する回答は少なく、今後は親子参加型のワークショップやコンサート、観劇等への内容変更も考えたい。	三島公民館、西公民館、狩野公民館との合同事業

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第36回三島公民館・三島コミュニティまつり (地区内住民)	三島コミュニティとの共催により、三島公民館利用団体の活動発表、地域住民の交流を目的として例年開催。	10月22日	1,000人	展示団体が昨年度より増加した。発表団体は、準備等に時間がかかるため、参加できなかつた団体も駐車場に野外ステージを設置することで、地域団体と共に参加できた。また展示部門の団体が増えたことから、展示スペースに関する要望も増加し、今後はホールホワイ工での展示方法など、展示会場について検討する。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	スマート公民館 (市民)	地域に身近な公民館を有効活用した地域づくりのため、誰でも自由に利用できる「シェアスペースの設置」、公民館貸館予約ができる「オンライン予約システム」の導入、予約した部屋のカギを暗唱番号等で開けることのできる「スマートロックの導入」などの取り組みを実施する。	—	—	令和5年12月にシェアスペースオープン。セルフカフェを導入。学習者や、利用団体が少人数での打ち合わせや、談笑する場として活用。 また、「オンライン予約システム」の導入により、24時間予約可能となつた。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館だよりの発行 (地区内住民)	公民館が実施する事業の募集や報告について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行する。	年2～3回発行	4～3月 (5回)	地区住民に向けて、公民館事業の案内など各種情報をタイムリーに発信することができた。	
2	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK（見る・来る） (市民)	エール那須塩原家学（うちがく）プロジェクトの一環として、公民館地域・事業等の紹介をインターネット（YouTube）で配信	通年		新規動画なし	施策3-3再掲

令和5（2023）年度 大山公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	少年教室 「おおやま体験塾」	種々の体験活動を通して、子供の持つ豊かな感性や創造力を育てる学習機会の提供を図る。	5月～1月 (全9回)	20人 (140人)	定員超過の申込がある人気の教室で、普段できない体験活動に加え、親子間や子供同士が交流できる学習内容であった。受講希望の児童を漏れなく受け入れていく等の課題もある。	
2	少年教室 「レッツダンス体験塾」	ヒップホップダンスの学びを通して、仲間との協調性、協力する大切さを会得し、体力の向上を図る。コミュニティまつりでの発表を目指す。	5月～10月 (全7回)	15人 (91人)	全員そろって練習を行う機会が少なく、困難が予想されたが、講座の風景を動画撮影して欠席者と共有することで練習が円滑に行われた。5年ぶりの開催となつたまつりでの発表は、受講者の児童にとっても良い体験であった。	
3	高齢者セミナー 「悠々大学」	心豊かな高齢期を過ごすための一助として、体験活動や健康講話等の学習を開く。	5月～1月 (全9回)	64人 (361人)	大学の目標としている「人と交わることの大切さ、そして人からの教えを聞くことの意義」、双方の習得に向けて、きちんと取り組まれていた。学習テーマにより多少参加人数にバラつきがあるものの、出席率は悪くない。	
4	大山カレッジ	市内の市民を中心とした、学習意欲を刺激し、生涯学習のきっかけとなるための一助とする。	5月～1月 (全9回)	50人 (109人)	今年度は、3B体操・薬膳料理・歴史講座と多様な講座を開催し、講座によっては、定員超過のため申し込みを断ることもあった。参加者からはおおむね好評であった。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	市民大学 「那須野が原の開拓と大山の歴史」	市内全域を対象に、各公民館を会場として学習する。今回は那須野が原開拓に「夢」を託した人々について学ぶ。また講座を通じて参加者同士の交流を図る。	8月～10月 (全5回)	22人 (87人)	那須野が原の開拓から大山に関する華族農場、鉄道、偉人、史跡を学びながら参加者同士の交流が図れた。	市民大学連携講座
2	大山健康ハイキング	自然とふれあいながら、ハイキングを通して、地域住民の健康維持、体力の向上と参加者の親睦、交流を図る。	7月13日	26人	日光杉並木を中心とした自然と歴史を感じる散策を実施し、参加者からの反応も良好であった。	
3	ラジオ体操	地域住民の健康増進及び居場所づくりのため、公民館にてラジオ体操を実施する。	週1回 (水曜)	210人	今年度途中からの開始だったが、毎週参加する方の定着や長期休暇中の児童クラブ児童の参加など、少しずつ盛り上がりを見せており。引き続き本事業を実施していきたい。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ICT推進講座	悠久大学の通年授業の一コマでスマホ教室を実施	6月	42人	スマートフォンの基礎知識を学習し、実際に操作しながら楽しい使い方や活用の仕方、テクニックを学ぶことができた。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	夏休み親子木工工作教室	親子での協同作業を通して、ふれあいを深めるとともに、心に残る夏の思い出づくりとする。	7月30日 (全1回)	28人	親子でのふれあう機会を提供して、木工キットをのこぎり、クランプ等の道具を使って加工し、協同作業により作品を仕上げた。手指消毒、換気が励行された。	

2	6地区コミ親善グラウンドゴルフ大会	コミュニティ相互の連携と親睦・交流を図る。	6月18日 (全1回)	37人	新型コロナウイルスの影響により中止が続いたが、開催したことでコミュニティ相互の連携と親睦・交流が図れた。	
3	世代間交流グラウンドゴルフ大会	地域住民の親睦と健康増進を図るために実施する。公民館の講座とタイアップをして、参加者の確保に努める。	11月19日	75人	体育レク部会と高齢者部会の合同協力をいただき、安全に実施できる体制を確認しながら、世代間の交流が大いに図れた。	
4	大山地区ニュースポーツ体験会	地域住民の親睦とニュースポーツの地区内普及を図るために実施する。	2月3日	31人	地域住民の親睦とニュースポーツの普及が図れた。	
5	第30回大山公民館・大山地区コミュニティまつり	利用団体による学習成果の発表とコミュニティが中心となつたさまざまな催し物を通して、地域住民のふれあいを深める。	10月8日	600人	多数の見学者が来館し、大山小、西那須野中、那須特別支援学校、利用団体による学習成果の発表ができた。	
6	第29回大山地区コミュニティどんどん焼き	大山コミュニティ・大山小学校・育成会との連携で、地域の伝承行事を実施する。(学校教育と社会教育の連携)	1月12日	500人	昨年度同様、今年度も新型コロナ感染防止対策のため、規模を縮小して実施し、地域の伝承行事を継承することができた。	
7	花いっぱい運動	コミュニティ広場の環境整備を通して、地区内の高齢者と那須特別支援学校生徒との交流を図る。	6月2日 11月2日	99人	地域の高齢者と生徒による花壇整備、花苗植栽が地域行事として定着してきている。双方の協同作業が有意義な交流事業へと育っている。	
8	大山小さな旅	地域住民の親睦と交流を図るとともに、参加者の見聞を広める一助とする。	11月21日	37人	コロナ禍後、久しぶりの開催となり、川越方面への旅行となった。参加者からも好評であった。	
9	お正月用ミニ門松作り教室	お正月飾りの意味を学び、参加者自ら作製したミニ門松でお正月を迎える喜びを味わう。今回も、大山小家庭教育支援事業と共に実施する。	12月16日	36人	講師が分かりやすく説明したため、作業が順調に進んだ。道具、机を共有せず、全て一家族・個人ごとに揃え、換気も適宜行い対策もしっかり行えた。	

10	伝承活動継承事業	伝承行事であるどんどん焼きの繭玉だんごづくりやどんどん焼きの準備を通して、地域の文化と技術の伝承、児童と高齢者の交流を図る。 (地域学校協働本部事業)	1月12日	120人	新型コロナウイルスの影響を考慮し、繭玉づくりは中止したものの、薪運びトリ小屋への点火などは大山小児童の手によって行われた。	
11	自然体験農園活動（稻作栽培）	児童が地域の農業従事の方に指導をいただき、農業体験を通して、食の大切さを学ぶ機会とする。 (地域学校協働本部事業)	5月2日	120人	農業体験を通して、自然の恵みに感謝する心が育まれ、地域の方とふれあうことが出来た。また、自然、大地に直接触れる機会もあり大変貴重な体験が出来た。	
12	自然体験農園活動（さつまいも栽培）		6月8日 11月8日	120人		
13	コミュニティ育成・支援・連携	コミュニティ活動を育成、支援すると共に、種々の地域活動と連携を図る。 また、地域学校協働本部の定着と協働活動の推進を図るために、方向性を決めて取り組んで行く。	通年	-	本会及び部会事業への活動支援等を通して、継続して地域力の向上に努めた。	
14	自治公民館活動支援	活動への指導、助言を行うとともに、情報提供を行うなどの地域活動を支援する。	通年	-	自治公民館への地区活動への支援を行った。今後も継続する。	
15	公民館利用団体の育成支援	情報の提供を行うとともに、自主活動を支援する。	通年	-	今年度は、公民館施設のオンライン予約開始に伴い、各利用団体と連絡を取りながら円滑な移行ができるよう努めた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	大山小家庭教育支援事業	家庭教育の重要性に鑑み、家庭における親のあり方について学ぶ。各学習会を通して、親同士の仲間づくりと情報交換の場として交流も深めていく。	7月～2月 (全5回)	(133人)	大山小PTA研修部及び大山地区コミュニティと協力して事業を実施することができた。事業の中で作成した作品を大山公民館まつりで展示することで事業のPRにもつながった。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第30回大山公民館・大山地区コミュニティまつり	利用団体による学習成果の発表とコミュニティが中心となつたさまざまな催し物を通して、地域住民のふれあいを深める。				施策4-5再掲

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年	-	必要な修繕を実施し、利用者が安全安心に利用できる環境を整えることができた。	
2	スマート公民館に向けた取組	公民館の利便性向上に必要なシステム及び、地域住民の居場所づくりのために必要な設備の導入	通年	-	公民館のオンライン予約システムの稼働開始など、少しづつではあるがスマート公民館として動き始めたところである。	
3	第30回大山公民館・大山地区コミュニティまつり	利用団体による学習成果の発表とコミュニティが中心となつたさまざまな催し物を通して、地域住民のふれあいを深める。				施策4-5再掲

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	コミュニティ広報紙の発行	コミュニティが実施する事業の募集や報告について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行する。	随時	-	公民館広報紙「大山のひろば」とコミュニティ広報紙「遊歩道」を分けて発行し、それぞれの目的に合った広報活動ができたと考える。	

令和5(2023)年度 ハロープラザ事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	高齢者学級 「やしお大学」 (地区内高齢者)	高齢者が楽しく生き生きと暮らせるように教養、健康、娯楽、仲間づくりをメインに実施する。	5月～1月 (8回)	34人 (156人)	各種講座を通じ仲間づくりを行うことが出来た。また、講座にて作成した作品をハロープラザまつりに展示するなど参加者の満足度を上げることが出来た。	
2	成人セミナー 「はじめての草木染」 (地区内住民及び市民)	季節の草花を利用し、自宅でもできる草木染の技法を学ぶと共に参加者同士の交流を図る。	8月27日 10月28日 2月17日 (3回)	10人 (27人)	季節感のある材料を使用することで参加者の満足度を高めることが出来た。途中、ティータイムを設け参加者同士の交流も深めることが出来た。	
3	成人セミナー 「ちょこっとピラティス＆エアロ教室」 (地区内住民及び市民)	運動不足解消を目的に家庭でもできる初心者向けの体幹トレーニングとダンス教室。	3月10日 3月17日 3月24日 (3回)	17人 (43人)	自宅でも簡単に取り組める内容であり、久しぶりの運動に受講者も満足していた。	
4	少年教室 「わんぱくチャレンジ塾」 (地区内児童)	小学生を対象とした体験教室、移動教室などで子供たちの好奇心・知識欲を刺激し、チャレンジ精神を高揚を図る。	6月～12月 (7回)	19人 (105人)	各種体験活動を通じ仲間づくりが図れた。また、コロナによる制限が解除されたことにより食事に関する講座が実施できるようになった。	
5	ハロープラザ自主事業 「イケ麺教室」 (地区内住民及び市民)	地元「関谷そば打ち保存会」に講師を依頼し、地域の人材育成と参加者の交流を図る	12月2日 12月9日 (2回)	8人 (12人)	麺打ちの基本「打つ、切る、茹でる」の説明、指導。また、今回は地粉を使い、香りを楽しみ方の解説もいただいた。受講者の満足度も高かった。	
6	ハロープラザ自主事業 「冬の寄せ植え教室」 (地区内住民及び市民)	季節の草花の寄せ植えすることで、参加者の各家庭で四季を感じとてもらう。	12月16日 (1回)	20人	寄せ植えの技法を学ぶと共に、参加者の作品を互いに鑑賞した。お正月向けの作品で参加者の満足度も高かった。	

7	ハローブラザ自主事業 「キムチづくり」 (地区内住民及び市民)	地元韓国料理店「春香伝」に講師を依頼し、地域の人材育成と参加者の交流を図る。	2月3日 (1回)	16人	本場韓国の唐辛子、や塩辛を使用。味も良く皆満足の出来上がりとなった。定員を超える申し込みがあり、参加者からの次年度開催の要望も多かった。	
8	ミニ門松づくり (地区内住民、児童生徒、保護者)	門松を作りながら、昔から伝わる風習を学ぶ。	12月17日 (1回)	9人	老若男女を問わず楽しめ、新年を迎える風習を学べた。	
9	味噌づくり教室 (地区内住民及び市民)	手作り味噌を自ら仕込み、味噌本来の美味しさや先人の知恵である発酵食品の良さを体験する。	1月20日 (1回)	18人	自家製味噌づくりが恒例の家庭も多く、参加者からは来年度も実施してほしいとの要望がある。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ハイキング（夏・秋） (地区内住民)	ハイキングを通して健康増進と参加者相互の交流を図る。	5月17日 10月29日 (2回)	35人	森林浴を楽しみながら参加者相互の交流が図れた。	
2	郷土史講座（塩原を掘る） (地区内住民及び市民)	塩原の三恩人（奥蘭田、三島通庸、尾崎紅葉）の人となり、塩原発展の歴史を学ぶことで郷土愛を深める。	9月9日 9月16日 9月30日 (3回)	30人 (66人)	三恩人に関する書籍・巻物や写真などの展示もあり、参加者の満足度は非常に高く、次年度以降の継続開催を望む声が多い。	市民大学連携講座
3	日本遺産巡り講座 (地区内住民)	市内等に点在している日本遺産を巡り、地域の歴史を学びながら、参加者同士の交流を図る。	7月20日 (1回)	9人	地元那須塩原の歴史を学ぶと共に専門ガイドを依頼したことにより理解を深めることができた。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	高齢者学級 「やしお大学」 (地区内高齢者)	1～No.1再掲 テレ朝出前講座（テレビ朝日）にて「災害報道・防災教室」実施し参加者の防災意識の向上を図る。	9月13日 (1回)	50人	災害の映像を視聴し怖さを学ぶと共に、報道側がどういった点に注意し視聴者に伝えているのかを知ることが出来た。	

2	はじめてのSNS講座	初心者向け講座として、スマートフォンの簡単な機能やアプリの安全対策と利用方法を学ぶ。	11月11日 11月18日 11月25日 (3回)	12人 (28人)	利用者の多いアプリ(LINE、Instagram)と検索アプリの安全対策と利用方法を学んだ。また、参加者アンケートをGoogleフォームを利用し実施。	
---	------------	--	------------------------------------	--------------	---	--

4 地域、学校、各種団体、企業等の多様な主体と連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	郷土の歴史探訪 (市民)	筈根地区に関わりのある史跡を見学し、郷土の歴史への理解を深めると共に生涯学習意欲の啓発を図る。	6月11日 7月23日 9月3日 10月22日 (4回)	25人 (67人)	塩原の古道や薹沼用水をたどり、地域への理解を深めることができた。また、参加者の満足度が非常に高く、次年度以降の継続開催を望む声が多い。	市民大学連携講座
2	地域施設見学会 (地区内住民)	地域内及び近隣の普段では入れない企業、研究施設等を見学し、地域の産業や特色を学び郷土理解を深める。	11月26日	-	申込者少数のため中止。	
3	ハローブラザ地区子供会育成会連絡協議会支援 (地区内単位子供会育成会)	ハローブラザ地区子供会育成会連絡協議会活動の支援。	通年	-	少子化により単位子ども会では取り組めない事業を地区子連で取り組んだ。地域内の人材や新会員募集などの人材育成にも繋がった。	
4	ハローブラザ地区子供会育成会連絡協議会事業 「真夏のお楽しみ会」 (地区内子供会育成会)	コロナ禍で実施できなかった食に関するイベントを夏休みの思い出作りとして実施。「流しそうめん」「スイカ割り」「紙飛行機飛ばし大会」	7月30日 (1回)	44人	保護者育成を図るため事前準備や当日の進行などに取り組んだ。また、子ども達にも普段できないことを体験させることができた。	
5	ハローブラザ地区子供会育成会連絡協議会支援 「みんなは！星空探検隊」 (地区内子供会育成会)	身近な自然の体験学習として、普段経験することのない天体望遠鏡を使っての星空観察を実施。	12月16日 (1回)	18人	あいにくの曇り空で星空観測はできなかったが、室内でプロジェクターを利用し星の説明や望遠鏡観察の疑似体験など、子どもたちに楽しめる内容で行うことができた。	

6	子ども会対抗かるた取り大会 (ハロープラザ地区子連会員)	塩原の名所旧跡や民俗風土を盛り込んで作られた「塩原かるた」を使って子ども会対抗かるた取り大会を開催。	1月21日 (1回)	40人	参加団体数、人数ともに近年減少傾向である。継続的に開催方法の見直しが必要である	
7	サマースクール (地区内児童)	地区内小中学校と協働し、地域の方を講師とした地区内児童に向けた宿題や体験学習を実施する。	7月30日 (1回)	40人	「書道」「たたき染」「埴輪作り」に別れて実施。最後に完成作品を全員で鑑賞し、交流も図れた。	
8	筠根学園地域学校協働本部会議 (委員 (地区内代表者、地区内学校長・地域連携教員・PTA会長、地域学校協働活動推進員))	地域学校協働本部事業に関して、情報及び意見交換を行い、学校と地域との連携を図る。 (地域学校協働本部事業)	6月21日 2月28日 (2回)	25人 (46人)	筠根学園となり初めての会議であったが特に問題等なく開催できた。次年度より委員が参加できる事業については案内をすることで事業を盛り上げていこう。	
9	花いっぱい運動 (筠根学園) (筠根学園生徒、保護者)	学校、地域の環境を整備し、地域との交流を図る。 (地域学校協働本部事業)	11月24日～30日 (1回)	102人	プランターに植栽したことで、校内のみならず地域内事業所にも飾らせてもらい事業をPRすることが出来た。	
10	地域巡り (筠根学園) (筠根学園児童3、6年生)	地域の歴史や自然等について学び、生徒の地域愛の醸成を図る。 (地域学校協働本部事業)	5月12日 6月22日 10月31日 (3回)	56人 (86人)	身近な地域に出かけ、地域の特色を知ることができ、見学内容のまとめを通して思考力・判断力を養うことができた。以下事業も同じであるが天候に左右されるため、日程調整が難しい。	
11	農作業体験 (筠根学園) (筠根学園児童5年生)	農作業体験を通じ、食についての理解を深める。 (地域学校協働本部事業)	5月25日 10月13日 (2回)	39人 (78人)	田植え、稻刈り体験を通して、食への関心が高まった。多くの方に関わっていただき感謝の気持ちを育成することができた。	
12	和太鼓実習 (筠根学園) (筠根学園生徒7年生)	和太鼓を演奏する体験を通して、地域の伝統芸能への興味関心を高め、文化を継承しようとする意識を高める。 (地域学校協働本部事業)	11月6日 (1回)	28人	和太鼓に触れ演奏することで貴重な体験となつた。また、地域に根差した文化に身をもって触れるに加え、和太鼓を習っている生徒の実技演奏を見ることで伝統継承の必要性について感じることができた。	

13	収穫祭 (筠根学園) (筠根学園生徒 5年生)	農作業体験を通じ収穫した 野菜等を調理することで、 収穫の喜びと食についての 意識を高める。 (地域学校協働本部事 業)	11月	-	日程調整できず。	
14	立志式記念行事 (筠根学園) (筠根学園生徒 8年生、保護者)	立志式の記念行事として、 今まで関わってきた方々へ 感謝の気持ちを伝える。 (地域学校協働本部事 業)	1月26日	-	式典のみ。 記念行事は中止。	
15	地域交流会 (筠根学園) (筠根学園生徒 4~6年生)	地域との交流をはかり、郷 土愛を育てる。 (地域学校協働本部事 業)	2月	-	日程調整できず。	
16	スキー教室 (筠根学園) (筠根学園児童 3~6年生、保護 者)	より多くの方に指導をしても らうことで、生徒の技術向上 と安全を確保する。 (地域学校協働本部事 業)	2月2日 (1回)	157人	地域の特性を生かし、 スキー技術を習得でき る機会とできた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	筠根学園家庭教育 学級 「小麦人形作成」「教養講話」「クリスマスリース作成」「親子ヨガ教室」 (筠根学園生 徒、保護者)	学校・PTAと連携を図り、 保護者に家庭教育に関する学習と交流の機会を提供し、親としての資質を高め、子どもの健全育成につなげる。 (家庭教育支援事業)	7月5日 11月15日 12月4日 1月27日 (4回)	251人	公演・創作活動・運動を通じ親子のコミュニケーション、保護者同士の親睦を図ることが出来た。	
2	大貫保育園家庭 教育支援事業 「演劇鑑賞（らくりん座）」「親子で運動遊び」 (大貫保育園園児、保護者)		1月27日 2月29日 (2回)	53人	観劇、軽体操の体験を通じ親子の親睦や、地元の文化活動を学ぶことが出来た。	
3	筠根地区合同家 庭教育学級 「視察研修」 (筠根学園生 徒、保護者)		9月8日 (1回)	-	台風により中止	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ハローブラザまつり (地区内住民、利用団体)	主催講座（教室）や地区内小中学校、公民館利用団体の発表を通して、地域住民との交流を図る。	11月5日	300人	5年ぶりの開催となり自主サークルの作品展示や発表、公民館事業の紹介、篠根学園全児童生徒の作品展示など地域住民の交流や生涯学習に寄与できた。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施 (市民、利用団体)	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な回収及び維持管理に必要な修繕を実施する。 令和5年度：トイレ洋式化、副変電設備機器改修	通年		繰越で実施。他にも老朽化箇所はあるが安全対策を第一に計画実施していきたい。	
2	スマート公民館に向けた取組 (市民、利用団体)	公民館の利便性向上に必要なシステム及び、地域住民の居場所づくりのために必要な設備の導入。	1月～		オンライン予約システムを導入し利用者がいつでもどこでも予約ができるようになった。	
3	公民館利用団体等育成支援 (利用団体)	公民館利用団体と連携を図り、情報の提供及び団体相互の交流活動を支援する。	通年		調整会議は問題なく開催できた。また、新年度からのオンライン予約への情報提供にも対応出来た。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ハローブラザだよりの発行 (地区内住民)	地区内住民に向けてハローブラザ等の事業の募集・報告等を告知する。	4月～3月 (12回)		地域内住民に向けて公民館事業の募集、報告などの情報周知が出来た。	
2	ハローブラザ関連ホームページの更新 (市民)	市民に向けてハローブラザ等の事業の募集・報告等を周知する。	4月～3月 (12回)		市民に向けて公民館事業の募集、報告などの情報周知が出来た。	

令和5(2023)年度 塩原公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	高齢者いきいき講座 (地区高齢者)	高齢者が楽しく生き生きと暮らせるように教養、健康、娯楽、仲間づくりをメインに、老人クラブや生きがいサロンと連携し、地域に出向いて実施。	5月～12月 (全7回)	(159人)	どの講座も、参加者たちは生き生きと笑顔で参加しており、健康づくりやお互いのコミュニケーションの向上に寄与することができた。	
2	【新規】飾り巻きづくり教室 (地区内住民)	親子で協力して料理をすることで、親子のコミュニケーション向上を図る。	7月29日	12人	飾り巻きづくりを親子で調理することで、親子のコミュニケーションを深めることができた。	
3	親子ふれあい講座 (地区内住民)	親子でふれあえる体験型教室(カジカ釣り)を開催し、親子のコミュニケーション向上を図る。	9月3日	44人	身近な河川の自然と大切さについて、カジカ釣りを通して親子で学ぶことができた。	
4	女性かがやき講座 (地区内女性)	日々の生活に輝きをプラスできるよう、教室（水引アート教室）を実施	1月23日	5人	結び方に四苦八苦していたが、各自素敵な耳飾りを完成させることができた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	初夏のハイキング (地区内住民)	奥日光中禅寺湖畔をハイキングし、参加者の健康維持を図る。	5月17日	19人	ハロープラザと合同で開催。講師によれば、初級のコースということだったが、途中で動けなくなる参加者が出てしまった。全員無事に帰還できたが、コース選びは慎重にならざるを得ない。	
2	健康アップ教室 (地区内住民)	肩・腰・膝が楽になる体操などを実施。 頭を使った運動を入れることにより脳の活性化を図る。	7月～8月 (全4回)	8人 (23人)	生活に必要な動きを取り入れた体操など、参加者からは熱心に体を動かしていた。	
3	【新規】日本遺産巡り講座 (地区内住民)	市内の那須野が原開拓の日本遺産を巡り、地域の歴史を学びながら、参加者同士の交流を図る。	7月20日	21人	ハロープラザと合同で開催。見学できる日本遺産は限られていたが、那須野が原開拓の苦難の歴史を感じることができた。	

4	夜間教養講座 (地区内住民)	革を加工したレザークラフト作品作りを実施する。受講生が革を選びから好きな作品を作る。	9月 (全4回)	4人 (16人)	各自スムーズに作業を進め、講座終了後に開催した公民館まつりに作品を出展できた。	
5	【新規】文学碑巡り講座 (市民)	塩原温泉に点在している文学碑を巡り、地域の歴史を学びながら、参加者同士の交流を図る。	10月27日	15人	文学碑を通して郷土愛と参加者の交流を深めることができた。	市民大学連携講座
6	【新規】ミニ正月飾り作り教室 (地区内住民)	正月飾りを自作して新年を祝うとともに、参加者同士の親睦を図る。	12月24日	6人	参加者同士、和気あいあいと作品を作り上げることができた。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	スマートフォン等教室 (地区内住民)	スマホの基礎知識を習得し、自宅で公民館の講座等学ぶようにする。	9月（全4回を2コース実施）	10人 (37人)	小人数で行う講座を2コース実施。ほぼマンツーマンで行ったため、受講者からも分かりやすないと好評を得た。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	園芸教室 (地区内住民、塩原小中学校生徒)	地元の農家の協力で高原野菜の収穫体験等を行い、地元の産業について理解を深める。 (地域学校協働本部事業)	6月及び11月 (全2回) ※11月は悪天候のため中止。	3人	野菜の収穫体験や実際に働いている人からの説明を受けて、野菜作りについての理解が深まった。11月に2回目を予定していたが、荒天のため中止となった。	
2	筍川リフレッシュ大作戦 (地区内園児・塩原小中学校の児童・生徒とその保護者、関係団体)	児童、生徒、園児、地域住民や関係団体が一体となり筍川の清掃・美化活動を行う。また、河川について学び、水に親しむことをとおして園児、児童生徒だけでなく地域住民や地域の自然との交流を図る。 (地域学校協働本部事業)	7月27日	100人	地元の漁協やコミュニティ、大田原土木事務所等の協力を得て実施。塩原小中学校児童生徒と認定こども園園児が参加し交流を深めた。河川について知識を深め、水遊び等で水に親しめた。	
3	さいかつぼーる大会 (地区内住民)	塩原温泉コミュニティ、塩原小中学校同窓会共催のさいかつボール大会。	11月 (全3回)	40人 (120人)	コロナ禍明けでは初めての大会で、参加チームは以前より減ったものの、各試合とも白熱し、参加者の交流を深めることができた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	塩原小中学校家庭教育学級 (保護者、児童・生徒等)	教育講話や親子体験活動などを通じて家庭の教育力向上と保護者同士の交流・親睦を図る。	5月～2月 (全6回)	(100人)	学級開き、視察研修、親子物づくり教室を開催。親同士の情報交換や親子のふれあいの場になった。	
2	さくら染め教室 (塩原小中学校生徒、保護者)	立志式にあわせてさくら染め教室を実施する。	1月～2月 (全2回)	6人 (8人)	親子でさくら染めに挑戦。親子の親睦を図ることができ、立志式の思い出となった。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	塩原温泉コミュニティ・公民館まつり (地区内住民、利用団体、市民)	公民館事業やサークル団体の学習成果の発表、コミュニティでの催し物等を通して地域住民の交流を図る。	10月1日	600人	新型コロナ禍以降で久々の地元住民が集まることができる催しとなった。公民館活動やサークル団体の活動発表、コミュニティが行った模擬店などで訪れた人たちを楽しませることができた。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	スマート公民館に向けた取組 (市民、利用団体)	公民館の利便性向上に必要なシステム及び、地域住民の居場所づくりのために必要な設備の導入	通年	-	1月10日から公民館の予約をオンラインでできるシステムを導入した。	
2	学習・読書スペースの提供 (地区内住民)	住民が気軽に利用できる学習の場を提供する。	通年	-	主に学生の利用が多かった。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	塩原公民館だよりの発行 (地区内住民)	公民館事業等の情報提供のための広報紙を発行。	月1回発行	-	地区内住民に事業実施状況等の情報提供ができた。	
2	市ホームページでの情報発信 (市民)	公民館事業等の情報提供を市ホームページで実施。	随時	-	市民に事業実施状況等の情報提供ができた。	

3	【新規】塩原テレビでの情報発信 (地区内住民)	塩原テレビで「行政情報局」として公民館事業等の情報を発信する。	2ヶ月に1回		10月より開始。地区内住民に事業実施状況等の情報提供ができた。	
---	----------------------------	---------------------------------	--------	--	---------------------------------	--

令和5年度 公民館利用状況一覧表

令和6年3月31日時点

公民館名	主催・共催		自主グループ		公共団体		各種団体		その他		合 計	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
黒磯	118	2,735	1,668	16,366	614	16,391	299	7,161	19	240	2,718	42,893
厚崎	49	1,723	1,692	12,586	106	1,364	337	4,851	2	80	2,186	20,604
稻村	62	1,719	1,006	9,622	168	1,206	388	5,743	34	521	1,658	18,811
とようら	41	630	389	2,327	40	167	262	3,219	1	6	733	6,349
鍋掛	85	1,194	195	1,226	89	957	111	1,423	0	0	480	4,800
東那須野	122	2,577	1,473	12,074	138	2,694	263	4,092	128	331	2,124	21,768
高林	80	1,789	443	3,179	39	798	347	3,573	196	1,056	1,105	10,395
西那須野	140	4,286	2,406	21,787	241	3,639	444	6,001	15	135	3,246	35,848
狩野	96	2,792	1,159	8,217	52	619	46	526	0	0	1,353	12,154
南	22	726	734	5,969	7	75	51	1,336	1	12	815	8,118
西	81	2,640	1,131	10,835	22	399	279	2,120	0	0	1,513	15,994
三島	127	2,155	1,379	12,920	62	1,326	166	3,597	19	596	1,753	20,594
大山	76	2,467	1,111	11,035	65	809	151	2,423	1	40	1,404	16,774
ハローフラサ	49	1,155	620	5,460	128	2,174	3,303	3,884	0	0	1,100	12,673
塩原	40	1,431	304	1,391	174	5,559	175	2,911	0	0	693	11,292
計	1,188	30,019	15,710	134,994	1,945	38,177	6,622	52,860	416	3,017	22,881	259,067

2 付属施設等

公民館名	グラウンド		体育館		児童クラブ		その他		合 計	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
黒磯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
厚崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稻村	0	0	0	0	0	0	262	1,192	262	1,192
とようら	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鍋掛	132	2,610	491	5,454	0	0	0	0	623	8,064
東那須野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高林	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西那須野	266	2,730	0	0	0	0	0	0	266	2,730
狩野	298	5,424	0	0	0	0	0	0	298	5,424
南	314	5,532	0	0	259	6,312	173	1,109	746	12,953
西	145	2,070	0	0	263	7,118	0	0	408	9,188
三島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大山	171	2,796	0	0	266	30,546	0	0	437	33,342
ハローフラサ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塩原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,326	21,162	491	5,454	788	43,976	435	2,301	3,040	72,893

那須塩原市公民館

黒磯公民館 厚崎公民館 稲村公民館 とようら公民館 鍋掛公民館

東那須野公民館 高林公民館 西那須野公民館 狩野公民館 南公民館

三島公民館 西公民館 大山公民館 ハロープラザ 塩原公民館